

食育に関する意識調査（アンケート）

結果報告書



平成25年3月

横浜市

目 次

I	調査の概要	2
II	回答者の属性	4
III	調査結果	8
1	ふだんの生活について	8
2	食事の状況について	11
3	食育について	21
4	食の安全や食に関する情報について	31
IV	調査票	37

I 調査の概要

1 調査目的

横浜市食育推進計画（計画期間：平成 22 年度から平成 27 年度末まで）で設定した、数値目標等の進捗よく状況を把握・検証し、施策の検討等に活用する。

2 調査概要

調査概要は下表のとおり。

表 1 調査概要

調査地域	横浜市全域																
調査手法	郵送調査																
調査対象	横浜市民 5,000 人（13 歳未満は保護者等が代理記入）																
調査標本	6 階層において、18 区・男女別で同数ずつ（外国人※を含む） <table border="1" data-bbox="635 817 1050 1205"><thead><tr><th></th><th>配布数</th></tr></thead><tbody><tr><td>乳幼児期(0～6 歳)</td><td>800</td></tr><tr><td>学童期(7～12 歳)</td><td>800</td></tr><tr><td>思春期(13～19 歳)</td><td>900</td></tr><tr><td>成人期(20～39 歳)</td><td>900</td></tr><tr><td>壮年期(40～64 歳)</td><td>800</td></tr><tr><td>高齢期(65 歳以上)</td><td>800</td></tr><tr><td>全体</td><td>5,000</td></tr></tbody></table> ※外国人登録より 10 人（ルビ付き調査票を配布）		配布数	乳幼児期(0～6 歳)	800	学童期(7～12 歳)	800	思春期(13～19 歳)	900	成人期(20～39 歳)	900	壮年期(40～64 歳)	800	高齢期(65 歳以上)	800	全体	5,000
	配布数																
乳幼児期(0～6 歳)	800																
学童期(7～12 歳)	800																
思春期(13～19 歳)	900																
成人期(20～39 歳)	900																
壮年期(40～64 歳)	800																
高齢期(65 歳以上)	800																
全体	5,000																
調査期間	平成 24 年 12 月 12 日（水）～12 月 25 日（火） 平成 25 年 1 月 7 日（月）分まで反映																
調査内容	1 ふだんの生活について（睡眠時間、健康状態 等） 2 食事の状況について（食事の摂取状況、食生活で気をつけたいこと 等） 3 食育について（食育の関心度、食育の関心事項、地産地消の認知度 等） 4 食の安全や食に関する情報について（食の安全の認知度、食中毒を防ぐために家庭で気をつけていること 等）																

3 回収結果

回収数 2, 025 票（回収率 40.5%）

※平成 21 年度調査 回収数 1, 866 票（回収率 37.3%）

・ 区別及び年齢別の回収結果は下表のとおり。

表 2 階層別回収状況

	配布数	回収数	回収率%
乳幼児期 (0～6歳)	800	187	23.4
学童期 (7～12歳)	800	231	28.9
思春期 (13～19歳)	900	273	30.3
成人期 (20～39歳)	900	400	44.4
壮年期 (40～64歳)	800	396	49.5
高齢期 (65歳以上)	800	391	48.9
無回答	-	147	-
全体	5,000	2,025	40.5

表 4 年代別回収状況

年代別	女性	男性	無回答	合計	%
0～9歳	144	149	1	294	14.5
10～19歳	212	183	2	397	19.6
20～29歳	61	47	0	108	5.3
30～39歳	221	70	1	292	14.4
40～49歳	131	56	0	187	9.2
50～59歳	74	49	0	123	6.1
60～69歳	95	91	1	187	9.2
70～79歳	104	96	0	200	9.9
80歳以上	42	47	1	90	4.4
無回答	95	37	15	147	7.3
全体	1,179	825	21	2,025	100.0

表 3 区別回収状況

区別	女性	男性	無回答	合計	%
青葉区	66	54	1	121	6.0
旭区	80	48	1	129	6.4
泉区	64	45	1	110	5.4
磯子区	65	42	0	107	5.3
神奈川区	76	47	0	123	6.1
金沢区	70	50	0	120	5.9
港南区	69	43	1	113	5.6
港北区	70	39	0	109	5.4
栄区	72	60	0	132	6.5
瀬谷区	58	35	1	94	4.6
都筑区	71	46	0	117	5.8
鶴見区	70	39	0	109	5.4
戸塚区	52	50	0	102	5.0
中区	59	44	1	104	5.1
西区	54	48	0	102	5.0
保土ヶ谷区	61	40	0	101	5.0
緑区	60	51	1	112	5.5
南区	56	43	0	99	4.9
無回答	6	1	14	21	1.0
全体	1,179	825	21	2,025	100.0

4 集計結果の見方

(1) 図表の見方

・ 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。

MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問

N : その設問に対する回答者数

(2) 集計結果の見方

・ 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

・ 数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（N = 2,025）

(3) クロス集計表の見方

・ 選択肢の中で、第 1 位の項目については、「濃いピンク」で塗りつぶしている。

・ 属性別にみて、特徴的な項目（他の数値と比べて概ね 10 ポイント以上数値が高い項目）については、「薄いピンク」で塗りつぶしている。

(4) 本文中の表現について

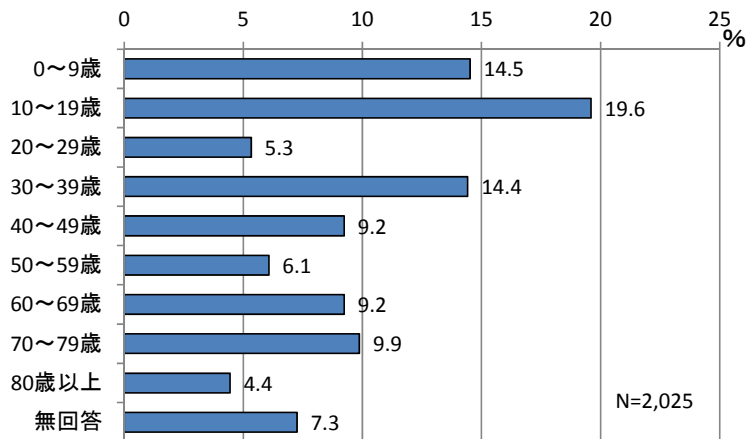
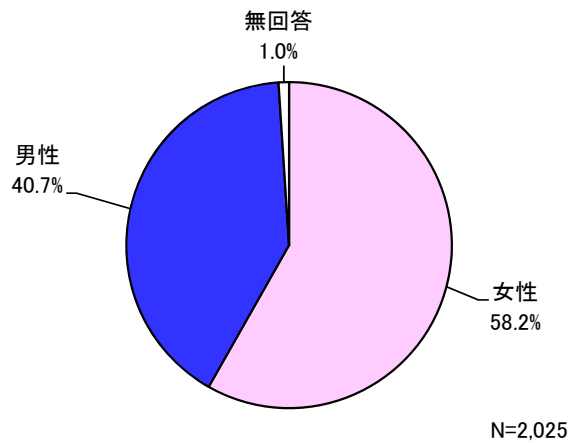
・ 平成 21 年度（前回）調査とは、「平成 21 年度 食育に関する意識調査」（横浜市実施）のことをいう。

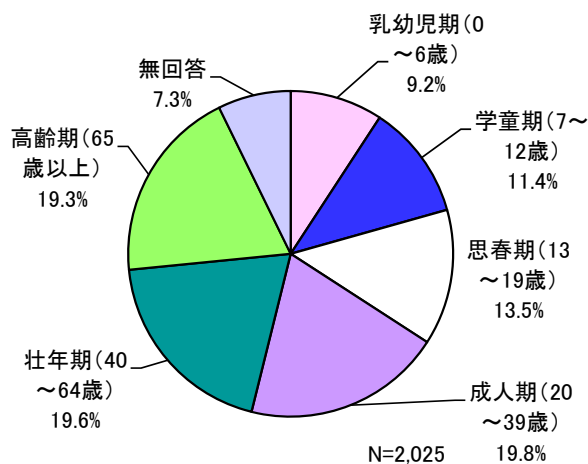
・内閣府調査は、「平成 23 年度 食育に関する意識調査」（内閣府実施）のことをいう。

Ⅱ. 回答者の属性

F 1 性別・年齢（年齢は平成 24 年 12 月 1 日現在の年齢）

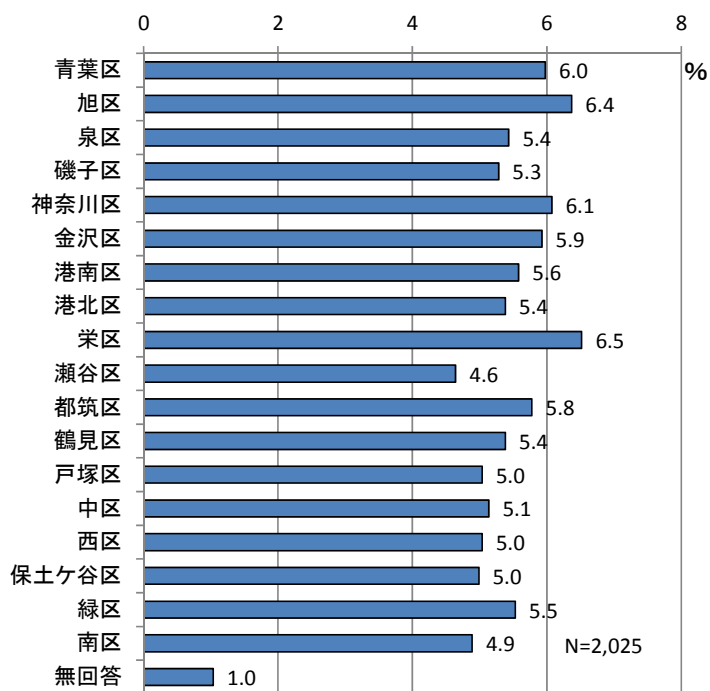
- ・性別は、女性が 58.2%、男性が 40.7%となっている。
- ・年齢別では、10～19 歳が 19.6%と最も高く、次いで、0～9 歳（14.5%）、30～39 歳（14.4%）となっている。
- ・年齢階層別で、成人期（20～39 歳）が 19.8%と最も高く、次いで、中壮年期（40～64 歳）が 19.6%、高齢期（65 歳以上）の 19.3%となっている。





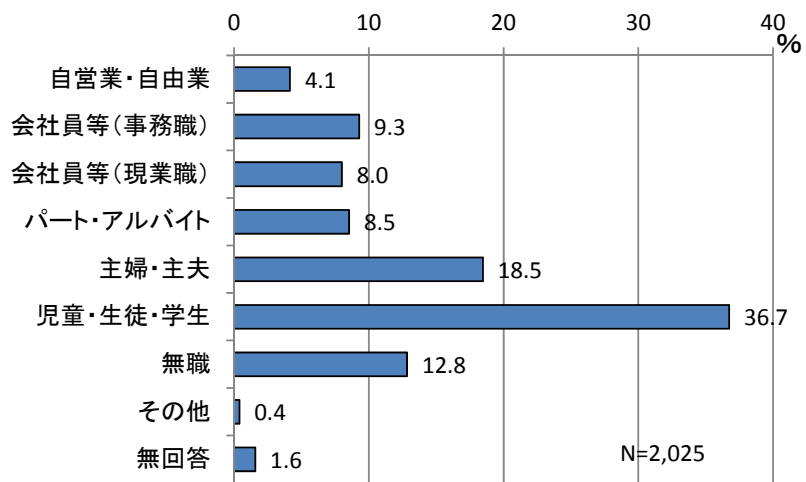
F 2 居住区

・最も多いのは栄区の 6.5%、最も少ないのは瀬谷区の 4.6%となっている。



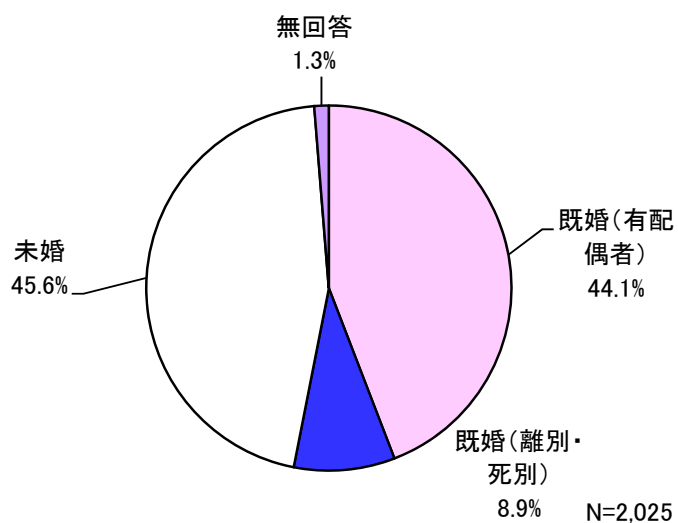
F 3 職業等

・「児童・生徒・学生」が最も高く 36.7%となっている。次いで「主婦・主夫」が 18.5%、「無職」(12.8%)、「会社員等 (事務職)」(9.3%)、「パート・アルバイト」(8.5%)、「会社員等 (現業職)」(8.0%)、「自営業・自由業」(4.1%)となっている。



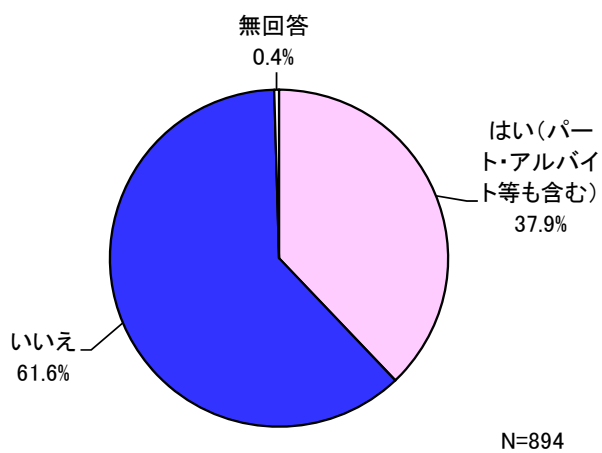
F 4 婚姻の有無

- ・「未婚」(45.6%)、「既婚(有配偶者)」(44.1%)、「既婚(離別・死別)」(8.9%)となっている。



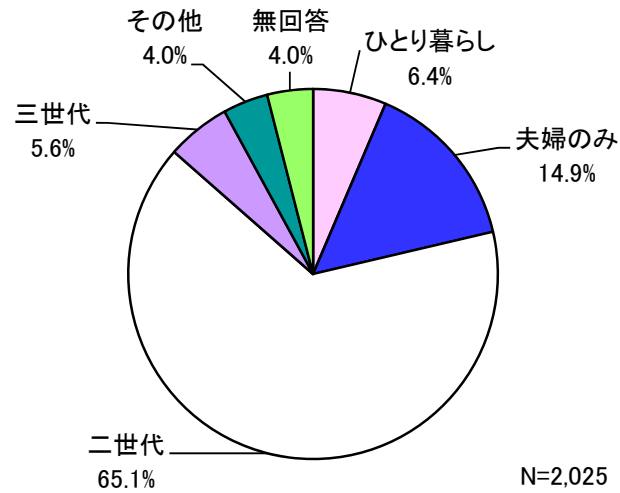
F 4 - 1 共働きの有無(既婚(有配偶者)のみ)

- ・既婚者のうち、共働き(パート・アルバイト等も含む)は、37.9%となっている。



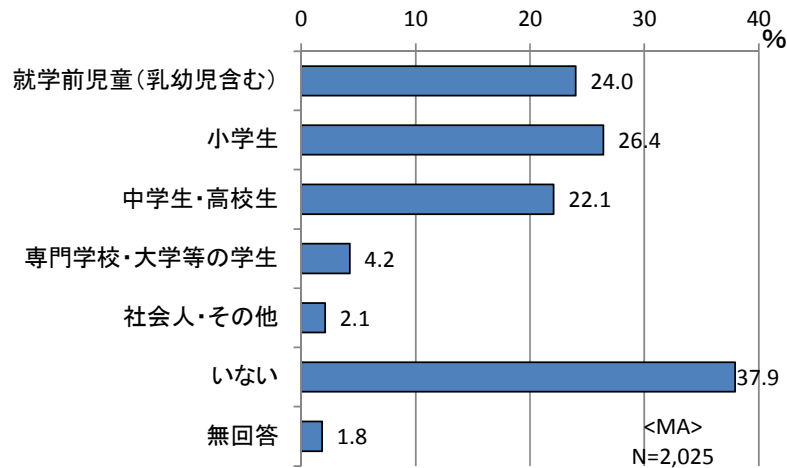
F 5 家族構成（世帯）

- ・「二世帯」が 65.1%と最も高くなっている。次いで、「夫婦のみ」（14.9%）、「ひとり暮らし」（6.4%）、「三世帯」（5.6%）となっている。



F 6 同居の 20 歳未満の家族（回答者を含む）

- ・「小学生」（26.4%）、「就学前児童（乳幼児含む）」（24.0%）、「中学生・高校生」（22.1%）、「専門学校・大学等の学生」（4.2%）、「社会人・その他」（2.1%）となっている。

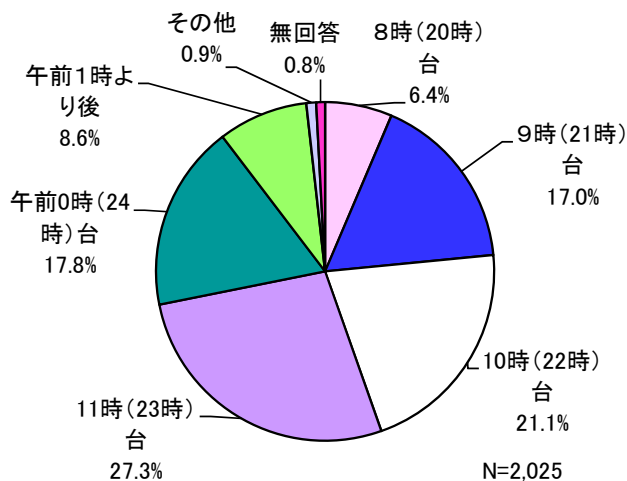


Ⅲ. 調査結果

1. ふだんの生活について

問1 あなたはふだん（平日）の夜は、何時頃に寝ることが多いですか。（○はひとつ）

・「11時（23時）台」が27.3%で最も高く、次いで「10時（22時）」が21.1%となっている。



■ 年齢別 ふだんの就寝時間（問1×F1）

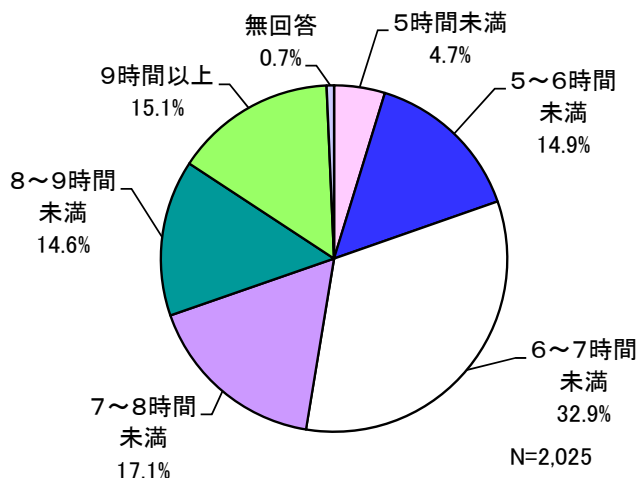
・「20～29歳」では、「午前0時台」、「午前1時より後」に寝る割合が、他の世代に比べて高くなっている。

図 年齢別 ふだんの就寝時間

	合計	問1 あなたはふだん（平日）の夜は、何時頃に寝ることが多いですか。								
		8時(20時)台	9時(21時)台	10時(22時)台	11時(23時)台	午前0時(24時)台	午前1時より後	その他	無回答	
全体	2025	6.4	17.0	21.1	27.3	17.8	8.6	0.9	0.8	
F1 年齢 (10歳階級)										
0～9歳	294	29.6	46.6	16.7	2.7	0.3	1.4	2.0	0.7	
10～19歳	397	0.8	11.8	25.2	29.7	24.2	7.6	0.8	0.0	
20～29歳	108	0.9	2.8	9.3	19.4	36.1	31.5	0.0	0.0	
30～39歳	292	3.8	11.0	12.3	29.8	27.4	13.7	1.0	1.0	
40～49歳	187	0.0	9.6	21.4	33.2	24.1	10.7	0.5	0.5	
50～59歳	123	0.0	8.9	17.9	32.5	26.8	12.2	0.8	0.8	
60～69歳	187	2.7	10.2	21.4	47.1	11.8	6.4	0.5	0.0	
70～79歳	200	3.5	20.0	34.5	30.0	7.5	3.0	0.0	1.5	
80歳以上	90	11.1	26.7	25.6	23.3	2.2	2.2	2.2	6.7	

問2 あなたのふだんの睡眠時間は、およそ何時間くらいですか。(〇はひとつ)

・「6～7時間未満」が32.9%で最も多い。



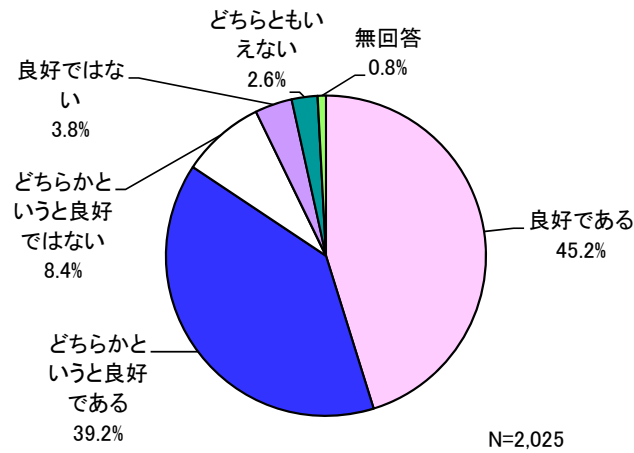
■ 年齢別 ふだんの睡眠時間 (問2 × F1)

図 年齢別 ふだんの睡眠時間

		合計	問2 あなたのふだんの睡眠時間は、およそ何時間くらいですか。						
			5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9時間以上	無回答
全体		2025	4.7	14.9	32.9	17.1	14.6	15.1	0.7
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	0.0	1.4	1.7	3.1	23.1	70.4	0.3
	10～19歳	397	3.8	9.6	35.0	22.4	21.7	7.6	0.0
	20～29歳	108	5.6	24.1	42.6	15.7	9.3	1.9	0.9
	30～39歳	292	6.8	17.8	40.1	18.8	8.9	7.2	0.3
	40～49歳	187	5.9	22.5	39.6	16.6	9.6	4.3	1.6
	50～59歳	123	9.8	25.2	48.0	11.4	4.1	0.8	0.8
	60～69歳	187	7.0	18.2	41.2	20.9	10.7	2.1	0.0
	70～79歳	200	4.0	20.5	36.5	20.0	13.0	5.0	1.0
80歳以上	90	3.3	14.4	24.4	26.7	21.1	6.7	3.3	

問3 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものをお答えください。(〇はひとつ)

・「良好である」が45.2%、「どちらかというと良好である」が39.2%となっている。



■ 年齢別 健康状態 (問3 × F1)

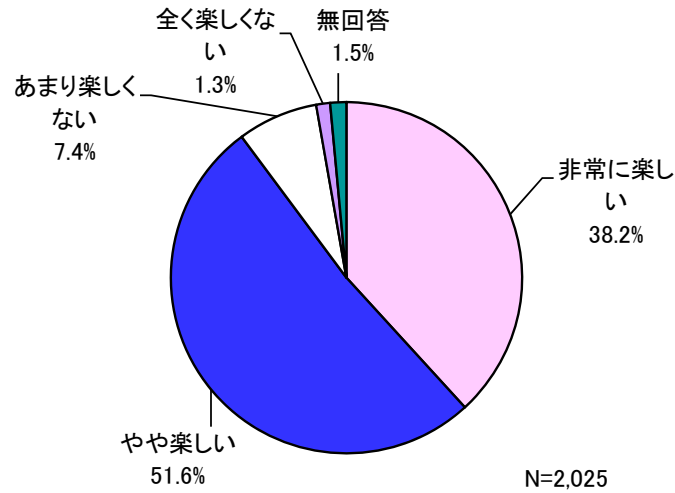
図 年齢別 健康状態

		合計	問3 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最(もつ)も近いものをお答えください。					
			良好である	どちらかというと良好である	どちらかというと良好ではない	良好ではない	どちらともいえない	無回答
全体		2025	45.2	39.2	8.4	3.8	2.6	0.8
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	82.3	14.6	1.0	0.3	0.7	1.0
	10～19歳	397	58.2	32.5	5.3	1.0	2.8	0.3
	20～29歳	108	40.7	41.7	12.0	3.7	1.9	0.0
	30～39歳	292	40.1	45.5	8.9	2.4	2.1	1.0
	40～49歳	187	34.2	50.8	9.1	2.7	2.7	0.5
	50～59歳	123	27.6	58.5	4.1	8.1	0.8	0.8
	60～69歳	187	25.7	51.3	11.2	6.4	4.8	0.5
	70～79歳	200	24.0	45.0	17.0	10.0	3.0	1.0
80歳以上	90	18.9	41.1	20.0	11.1	4.4	4.4	

2. 食事の状況について

問4 あなたは、ふだんの食事の時間が楽しいですか。(○はひとつ)

- ・「やや楽しい」が51.6%、「非常に楽しい」が38.2%となっている。



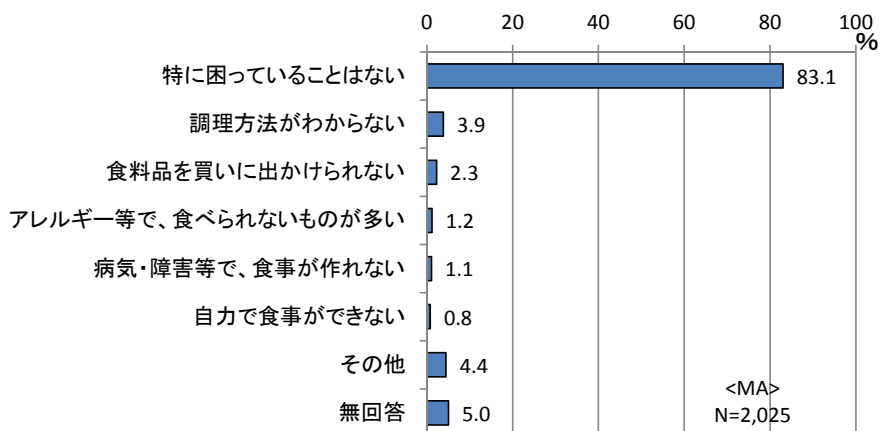
■ 年齢別 食事時間の楽しさ (問4 × F1)

図 年齢別 食事時間の楽しさ

		合計	問4 あなたは、ふだんの食事の時間が楽しいですか。				
			非常に楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	全く楽しくない	無回答
全体		2025	38.2	51.6	7.4	1.3	1.5
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	48.3	45.6	1.7	0.7	3.7
	10～19歳	397	45.3	47.9	5.8	0.5	0.5
	20～29歳	108	44.4	47.2	5.6	2.8	0.0
	30～39歳	292	32.9	54.8	10.3	1.4	0.7
	40～49歳	187	35.3	53.5	9.1	1.1	1.1
	50～59歳	123	31.7	54.5	10.6	1.6	1.6
	60～69歳	187	32.1	57.8	6.4	3.7	0.0
	70～79歳	200	35.0	53.5	8.0	1.0	2.5
	80歳以上	90	26.7	54.4	13.3	1.1	4.4

問5 あなたは、食事に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「特に困っていることはない」が83.1%と最も高くなっている。



■ 年齢別 食事に関して困っていること (問5 × F1)

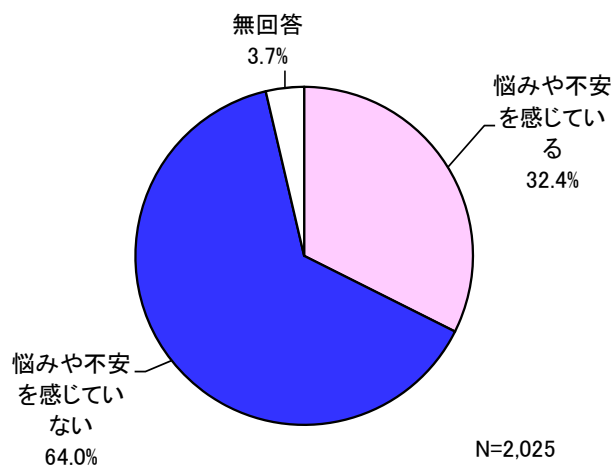
- ・「80歳以上」では、「食料品を買いに出かけられない」人の割合が、12.2%となっている。

図 年齢別 食事に関して困っていること

		合計	問5 あなたは、食事に関して、困っていることはありますか。							
			特に困っていることはない	食料品を買いに出かけられない	病気・障害等で、食事が作れない	調理方法がわからない	自力で食事ができない	アレルギー等で、食べられないものが多い	その他	無回答
全体		2025	83.1	2.3	1.1	3.9	0.8	1.2	4.4	5.0
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	76.9	0.7	0.0	0.7	3.1	1.7	8.5	9.5
	10～19歳	397	87.2	1.0	0.8	5.0	0.0	1.8	2.0	3.5
	20～29歳	108	80.6	5.6	0.0	2.8	0.0	1.9	7.4	3.7
	30～39歳	292	80.5	1.7	0.7	5.8	0.3	1.4	7.2	4.1
	40～49歳	187	84.5	1.1	0.5	3.7	0.0	2.1	3.7	5.9
	50～59歳	123	85.4	3.3	2.4	3.3	0.0	0.0	4.1	4.9
	60～69歳	187	89.3	0.5	1.1	4.3	0.5	0.0	1.1	3.2
	70～79歳	200	85.0	3.0	1.5	3.5	2.0	0.5	3.5	2.5
80歳以上	90	73.3	12.2	5.6	3.3	0.0	1.1	4.4	7.8	

問6 あなたは、日頃の食生活で悩みや不安を感じていますか。(〇はひとつ)

- ・「悩みや不安を感じていない」が64.0%、「悩みや不安を感じている」が32.4%となっている。



■ 年齢別 日頃の食生活での悩みや不安の有無 (問6 × F1)

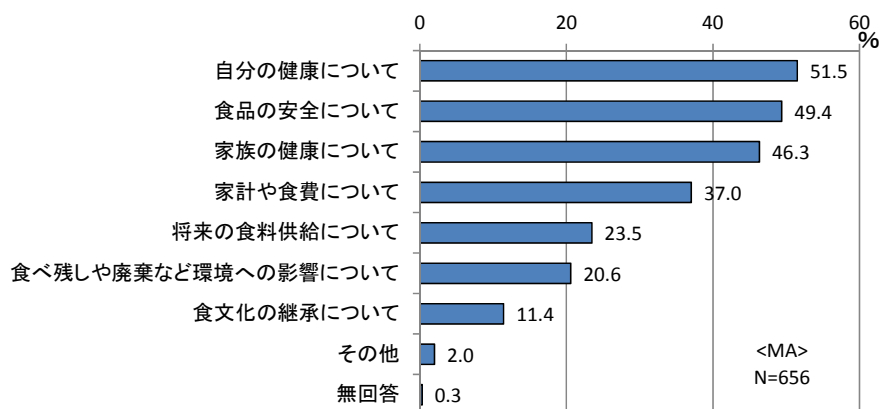
- ・「30～39歳」では、「悩みや不安を感じている」(54.1%)が、「悩みや不安を感じていない」(44.9%)を上回っている。

図 年齢別 日頃の食生活での悩みや不安の有無

		合計	問6 あなたは、日頃の食生活で悩みや不安を感じていますか。		
			悩みや不安を感じている	悩みや不安を感じていない	無回答
全体		2025	32.4	64.0	3.7
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	6.8	84.7	8.5
	10～19歳	397	18.1	80.4	1.5
	20～29歳	108	46.3	53.7	0.0
	30～39歳	292	54.1	44.9	1.0
	40～49歳	187	43.3	53.5	3.2
	50～59歳	123	46.3	51.2	2.4
	60～69歳	187	35.3	63.6	1.1
	70～79歳	200	36.0	57.0	7.0
	80歳以上	90	33.3	52.2	14.4

問6-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(問6で「1」に○をつけた方のみ、○はいくつでも)

- ・日頃の食生活で、悩みや不安を感じていることは、「自分の健康について」が51.5%と最も高くなっている。次いで、「食品の安全について」が49.4%、「家族の健康について」が46.3%となっている。



■ 性別 日頃の食生活で悩みや不安を感じていること (問6-1 × F1)

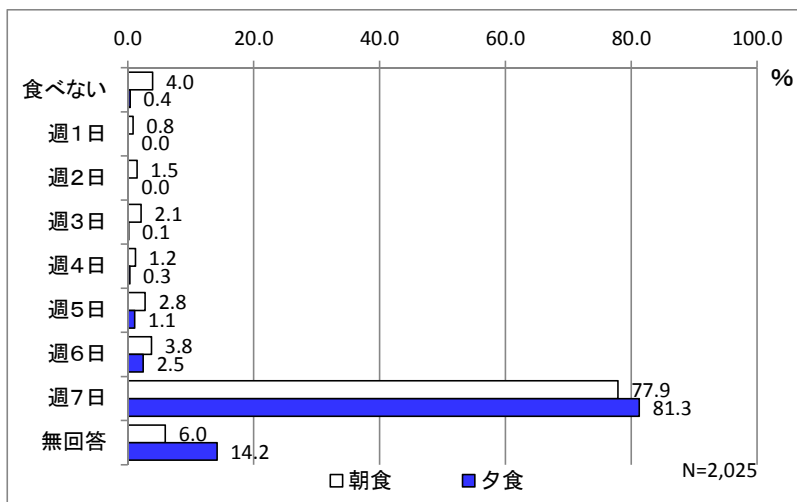
- ・性別でみると、男性は「自分の健康について」が58.7%、女性は「家族の健康について」「食品の安全について」が54.1%と最も高くなっている。

図 男女別 日頃の食生活で悩みや不安を感じていること

		合計	問6-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。								
			自分の健康について	家族の健康について	家計や食費について	食品の安全について	将来の食料供給について	食文化の継承について	食べ残しや廃棄など環境への影響について	その他	無回答
	全体	656	51.5	46.3	37.0	49.4	23.5	11.4	20.6	2.0	0.3
F1 性別	女性	440	47.3	54.1	39.8	54.1	23.2	12.5	21.4	2.0	0.2
	男性	208	58.7	29.8	31.7	40.4	23.6	9.1	18.8	1.9	0.5

問7 あなたはふだん、朝食・夕食をどの程度食べていますか。(〇はそれぞれひとつずつ)

・朝食・夕食ともに、「週7日」食べる人の割合が、最も高くなっている。



■ 睡眠時間別 朝食・夕食頻度 (問7×問2)

・睡眠時間別にみると、睡眠時間が長い人ほど、朝食を「週7日」食べる人の割合が、高くなっている。

図 睡眠時間別 朝食・夕食頻度

朝食

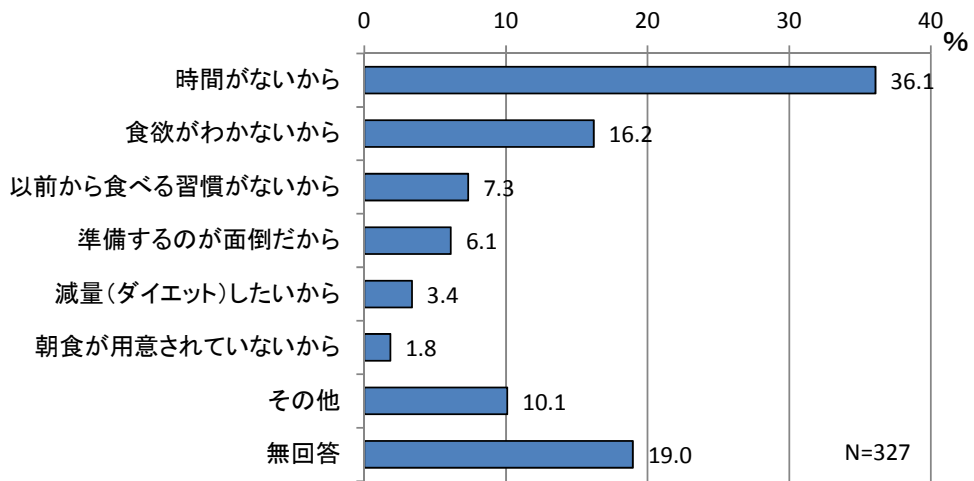
	合計	問7 (朝食)									
		食べない	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	
全体	2025	4.0	0.8	1.5	2.1	1.2	2.8	3.8	77.9	6.0	
問2 あなたのふだんの睡眠時間は、およそ何時間くらいですか。	5時間未満	96	9.4	3.1	2.1	4.2	3.1	2.1	2.1	69.8	4.2
	5～6時間未満	302	6.0	1.0	2.3	2.6	2.0	4.6	4.3	72.2	5.0
	6～7時間未満	667	4.6	0.6	2.1	3.0	1.5	3.6	3.6	75.0	6.0
	7～8時間未満	346	3.5	1.2	1.2	1.2	0.6	2.3	4.9	78.0	7.2
	8～9時間未満	295	1.7	1.0	1.0	1.7	1.0	2.4	5.1	79.7	6.4
	9時間以上	305	1.6	0.0	0.0	0.7	0.3	0.3	1.3	93.1	2.6
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	71.4

夕食

	合計	問7 (夕食)									
		食べない	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	
全体	2025	0.4	0.0	0.0	0.1	0.3	1.1	2.5	81.3	14.2	
問2 あなたのふだんの睡眠時間は、およそ何時間くらいですか。	5時間未満	96	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	2.1	68.8	26.0	
	5～6時間未満	302	0.0	0.3	0.3	0.3	0.7	1.0	3.3	80.1	13.9
	6～7時間未満	667	0.4	0.0	0.0	0.1	0.4	1.6	2.4	81.6	13.3
	7～8時間未満	346	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.6	2.3	79.5	16.8
	8～9時間未満	295	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	3.7	79.7	15.3	
	9時間以上	305	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.0	92.1	5.6
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	78.6

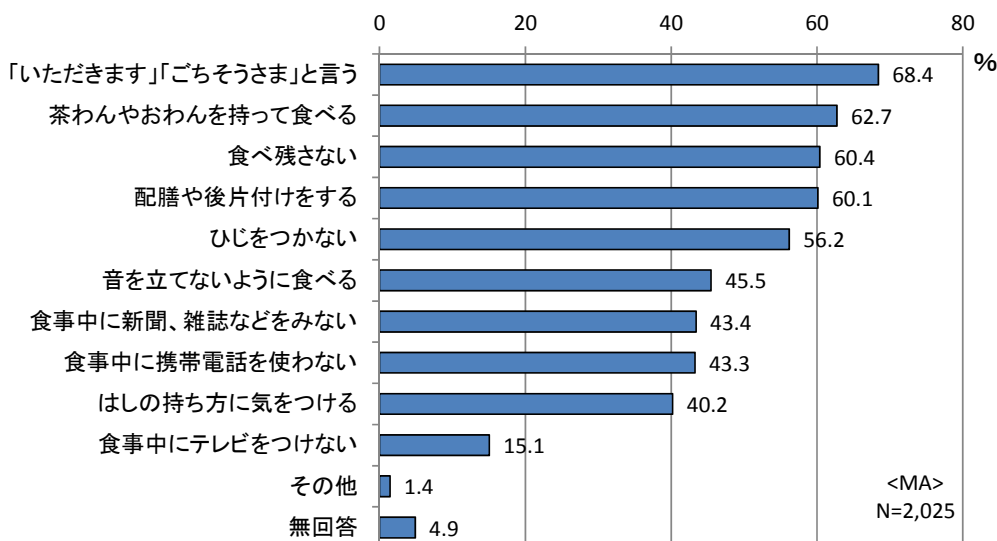
問7-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(問7で、朝食について「1から7」に○をつけた方のみ、○はひとつ)

- ・「時間がないから」が、36.1%と最も高くなっている。



問8 あなたはふだん食事の際に、習慣にしていることはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「いただきます」「ごちそうさま」と言うが、68.4%と最も高くなっている。
- ・次いで、「茶わんやおわんを持って食べる」(62.7%)、「食べ残さない」(60.4%)、「配膳や後片付けをする」(60.1%)となっている。



■ 年齢別 食事の際に習慣にしていること (問8 × F1)

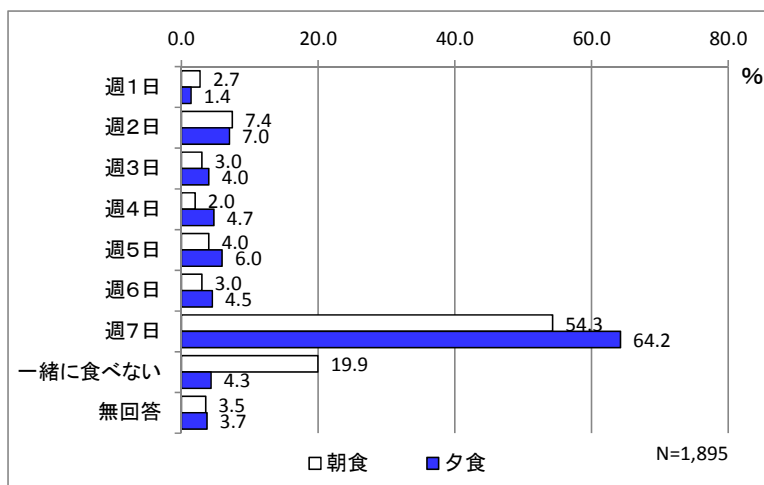
- ・年齢別にみると、「0～9歳」「10～19歳」「30～39歳」では、「いただきます」「ごちそうさま」と言う、「40～49歳」では、「ひじをつかない」、その他の世代では、「茶わんやおわんを持って食べる」が最も高くなっている。

図 年齢別 食事の際に習慣にしていること

		問8 あなたはふだん食事の際に、習慣にしていることはありますか。												
		合計	「いただきます」「ごちそうさま」と	食べ残さない	茶わんやおわんを持って食べる	はしの持ち方に気をつける	ひじをつかない	音を立てないように食べる	食事中にテレビをつけない	食事中に新聞、雑誌などをみない	食事中に携帯電話を使わない	配膳や後片付けをする	その他	無回答
	全体	2025	68.4	60.4	62.7	40.2	56.2	45.5	15.1	43.4	43.3	60.1	1.4	4.9
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	80.6	43.2	36.7	40.5	49.3	27.6	25.2	33.7	29.6	40.1	1.0	11.6
	10～19歳	397	74.6	64.2	58.4	48.1	58.9	47.4	12.6	43.8	48.9	57.2	1.0	4.3
	20～29歳	108	67.6	58.3	70.4	37.0	50.9	54.6	3.7	22.2	25.9	59.3	1.9	2.8
	30～39歳	292	73.3	63.7	62.3	40.1	57.5	49.0	20.9	43.2	40.4	65.8	1.4	1.7
	40～49歳	187	67.4	64.7	67.4	46.5	68.4	55.1	13.9	48.7	53.5	65.2	1.6	4.8
	50～59歳	123	60.2	56.1	71.5	35.8	52.8	43.1	6.5	39.0	43.9	65.9	2.4	8.1
	60～69歳	187	55.1	61.5	67.9	28.3	52.4	43.3	9.6	50.3	46.0	65.2	2.7	3.2
	70～79歳	200	57.0	69.0	79.0	36.5	59.0	49.5	13.5	57.0	54.0	74.0	1.0	1.5
	80歳以上	90	56.7	66.7	73.3	34.4	54.4	48.9	14.4	50.0	38.9	61.1	0.0	6.7

問9 あなたはふだん、朝食・夕食を、家族等同居されている方とどの程度一緒に食べていますか。(ご家族等と同居されている方のみ、○はそれぞれひとつずつ)

・朝食、夕食ともに「週7日」一緒に食べる人の割合が、最も高くなっている。



■ 年齢別 朝食・夕食を家族と一緒に食べる頻度 (問9 × F1)

・家族と同居している「20～29歳」の人のうち、「朝食を一緒に食べない」人は、47.9%となっている。

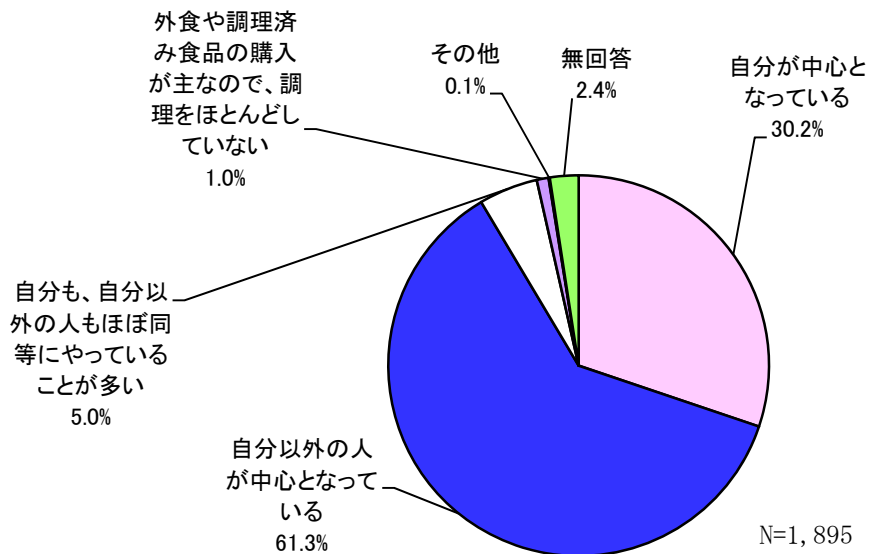
図 年齢別 朝食・夕食を家族と一緒に食べる頻度

		合計	問9 (朝食)								
			週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	一緒に食べない	無回答
全体		1895	2.7	7.4	3.0	2.0	4.0	3.0	54.3	19.9	3.5
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	0.0	4.4	0.3	2.4	1.7	1.0	82.3	5.4	2.4
	10～19歳	396	4.0	6.3	4.0	2.3	4.5	4.3	49.7	23.5	1.3
	20～29歳	96	8.3	11.5	6.3	0.0	2.1	3.1	19.8	47.9	1.0
	30～39歳	273	2.9	11.4	4.4	1.8	5.1	3.3	48.7	20.1	2.2
	40～49歳	182	1.6	11.0	1.6	2.2	7.7	1.1	54.4	19.2	1.1
	50～59歳	110	3.6	11.8	3.6	1.8	3.6	1.8	36.4	35.5	1.8
	60～69歳	166	1.8	8.4	4.2	1.8	4.2	3.6	49.4	23.5	3.0
	70～79歳	169	2.4	3.6	3.0	1.2	3.0	5.3	56.8	13.6	11.2
80歳以上	71	0.0	2.8	0.0	1.4	2.8	0.0	62.0	9.9	21.1	

		合計	問9 (夕食)								
			週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	一緒に食べない	無回答
全体		1895	1.4	7.0	4.0	4.7	6.0	4.5	64.2	4.3	3.7
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	0.0	1.7	0.7	0.7	1.4	0.3	91.8	1.0	2.4
	10～19歳	396	2.0	5.6	4.8	5.8	8.8	5.8	61.9	3.5	1.8
	20～29歳	96	5.2	13.5	9.4	12.5	9.4	9.4	32.3	7.3	1.0
	30～39歳	273	2.2	12.1	3.3	4.0	4.8	2.6	63.4	5.9	1.8
	40～49歳	182	2.2	11.0	6.0	6.6	7.1	3.3	56.6	5.5	1.6
	50～59歳	110	0.9	16.4	10.0	5.5	7.3	9.1	43.6	4.5	2.7
	60～69歳	166	1.2	3.6	4.2	3.6	8.4	6.6	65.7	3.6	3.0
	70～79歳	169	0.6	2.4	2.4	3.6	4.7	6.5	64.5	5.3	10.1
80歳以上	71	0.0	2.8	0.0	0.0	5.6	2.8	54.9	8.5	25.4	

問 10 あなたのご家庭では、誰が調理の中心となっていますか。(〇はひとつ)

・「自分以外の人を中心となっている」が61.3%と最も高くなっている。



■ 性別 調理の中心となっている人 (問10×F1)

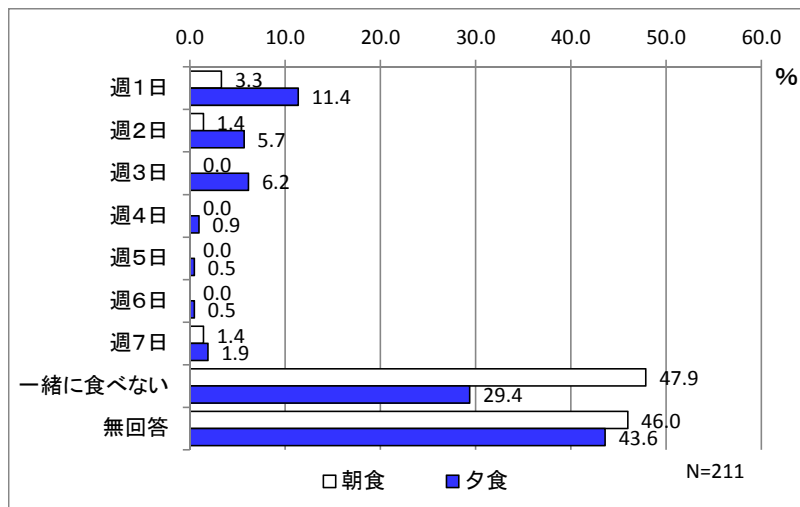
・女性は「自分が中心となっている」が48.6%となっている。一方、男性は「自分以外の人を中心となっている」が86.3%となっている。

図 男女別 調理の中心となっている人

		合計	問10 あなたのご家庭では、誰が調理の中心となっていますか。					
			自分が中心となっている	自分以外の人を中心となっている	自分も、自分以外の人もほぼ同等にやっていることが多い	外食や調理済み食品の購入が主なので、調理をほとんどしていない	その他	無回答
	全体	1895	30.2	61.3	5.0	1.0	0.1	2.4
F1 性別	女性	1108	48.5	44.0	4.1	1.1	0.0	2.4
	男性	768	3.9	86.3	6.1	0.9	0.3	2.5

問11 あなたはふだん、朝食・夕食をどの程度、ご友人などと一緒に食べていますか。(ひとり暮らしの方のみ、〇はそれぞれひとつずつ)

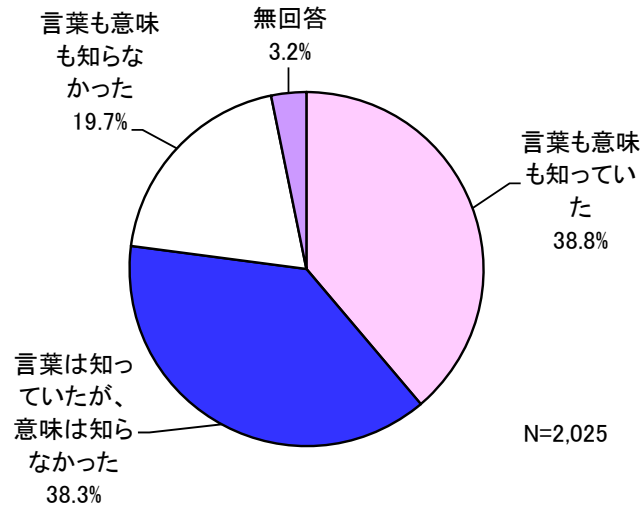
・朝食、夕食ともに、「一緒に食べない」が、最も高くなっている。



3. 食育について

問12 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(〇はひとつ)

- ・「食育」という言葉を知っている（「言葉も意味も知っていた」(38.8%)、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(38.3%)）の合計)人の割合は、77.1%となっている。



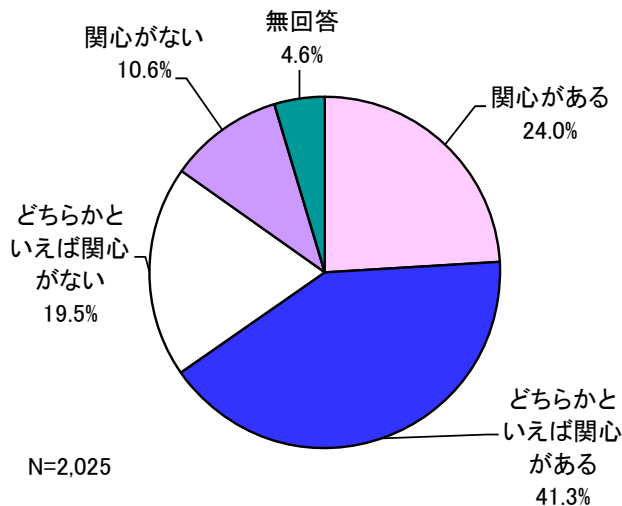
■ 年齢別 食育の認知度 (問12×F1)

図 年齢別 食育の認知度

		合計	問12 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。			
			言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが、意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答
全体		2025	38.8	38.3	19.7	3.2
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	13.6	22.1	49.7	14.6
	10～19歳	397	34.0	52.9	12.6	0.5
	20～29歳	108	47.2	38.9	12.0	1.9
	30～39歳	292	50.3	38.7	10.3	0.7
	40～49歳	187	56.1	37.4	6.4	0.0
	50～59歳	123	52.0	35.0	13.0	0.0
	60～69歳	187	38.5	41.2	19.8	0.5
	70～79歳	200	36.0	37.5	22.0	4.5
80歳以上	90	28.9	31.1	35.6	4.4	

問 13 あなたは「食育」に関心がありますか。(〇はひとつ)

・食育に関心がある（「関心がある」(24.0%) 「どちらかといえば関心がある」(41.3%) の合計) 人の割合は、65.3%となっている。(20歳以上は75.5%)



■ 年齢（階層区分）別 食育の関心度（問 13×F1）

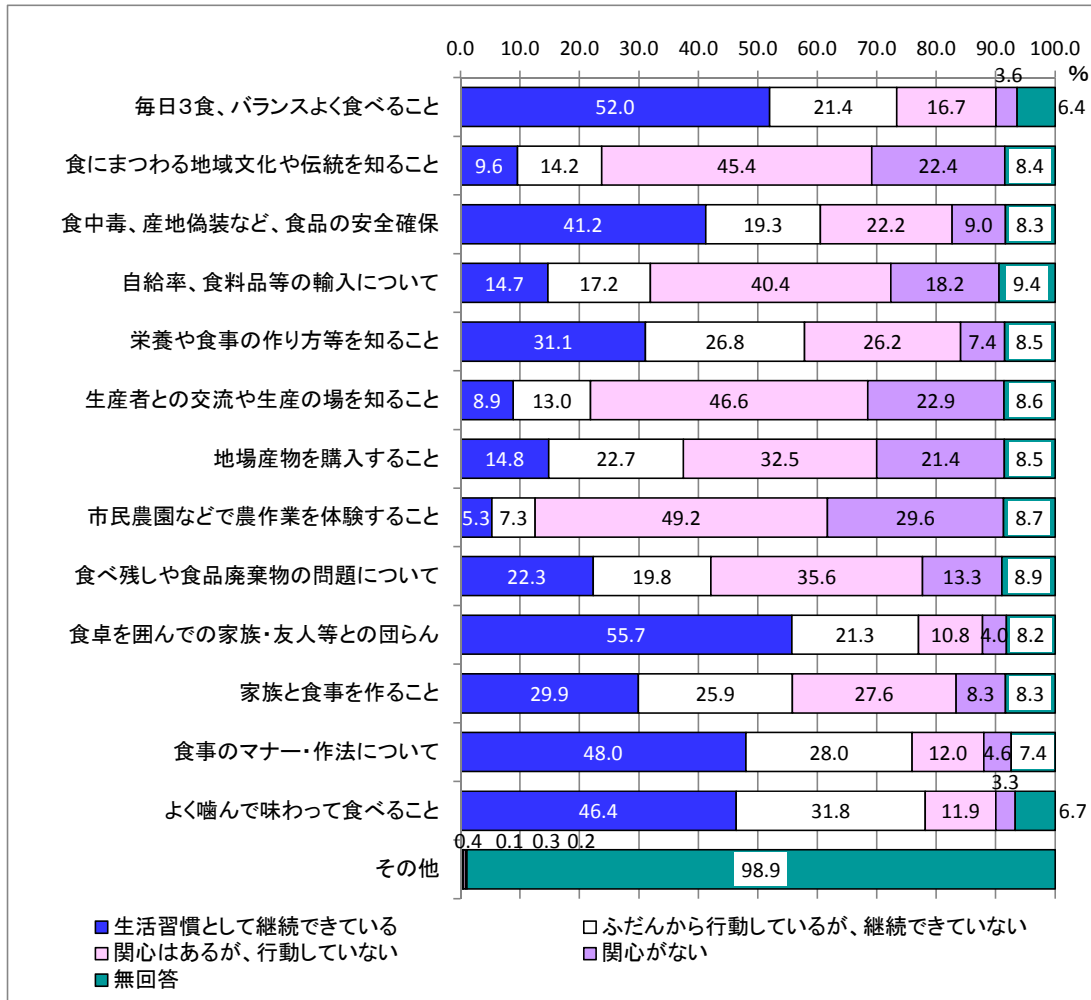
・「壮年期（40～64歳）」では、食育に関心がある（「関心がある」(27.0%) 「どちらかといえば関心がある」(53.3%) の合計) 人の割合は、8割を超えている。

図 年齢（階層区分）別 食育の関心度

		合計	問13 あなたは「食育」に関心がありますか。					関心がある+どちらかといえば関心がある	関心がない+どちらかといえば関心がない
			関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答		
全体		2025	24.0	41.3	19.5	10.6	4.6	65.3	30.0
F1 年齢 (階層区分)	乳幼児期 (0～6歳)	187	10.2	15.5	8.0	38.0	28.3	25.7	46.0
	学童期 (7～12歳)	231	15.2	35.5	24.7	20.8	3.9	50.6	45.5
	思春期 (13～19歳)	273	14.3	39.9	33.0	12.5	0.4	54.2	45.4
	成人期 (20～39歳)	400	31.0	44.0	18.8	5.5	0.8	75.0	24.3
	壮年期 (40～64歳)	396	27.0	53.3	16.9	2.8	0.0	80.3	19.7
	高齢期 (65歳以上)	391	28.6	42.5	16.6	6.1	6.1	71.1	22.8

問 14 あなたは次の「食育」に関する項目にどの程度関心がありますか。(〇はそれぞれひとつずつ)

・「生活習慣として継続できている」人の割合は、「食卓を囲んでの家族・友人等との団らん」(55.7%)と最も高く、次いで「毎日3食、バランスよく食べること」(52.0%)、「食事のマナー・作法について」(48.0%)となっている。



問 15 あなたは、健全な食生活を実践するため参考になっている指針等がありますか。(〇はひとつ)

- ・「参考になっている指針等がある」市民の割合は、33.9%となっている。(前回調査 29.7%)

図 参考になっている指針等の有無

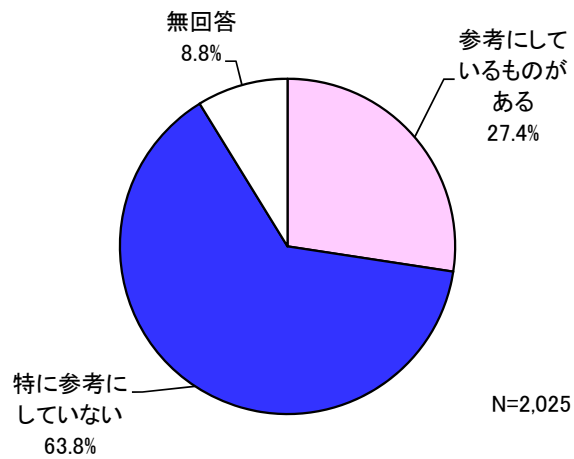
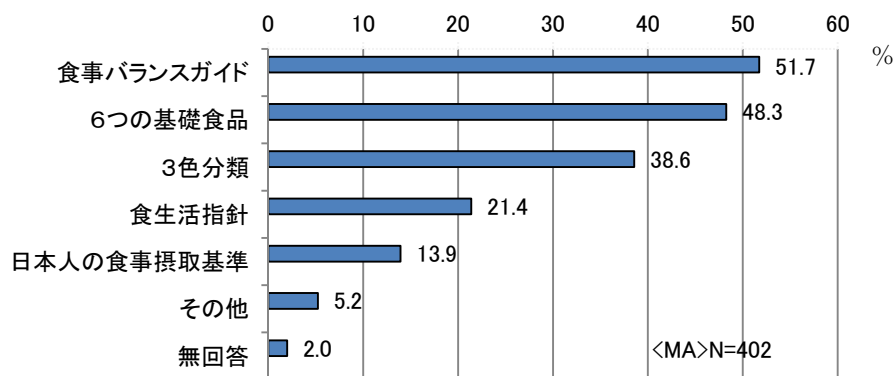
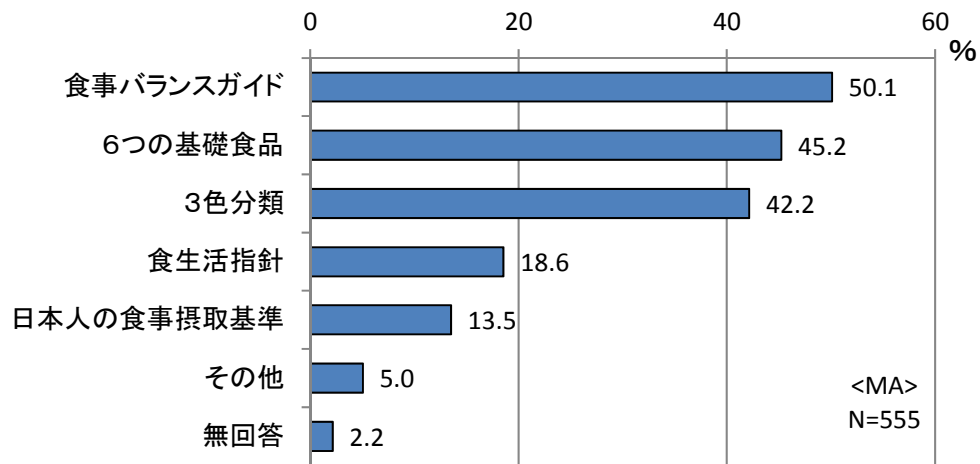


図 参考になっている指針等について



問15-1 あなたは、どのような指針等を参考にしていますか。(問15で「1」に○をつけた方のみ、○は3つまで)

- ・「食事バランスガイド」が50.1%と最も高くなっている。次いで、「6つの基礎食品」が45.2%、「3色分類」が42.2%となっている。



問 16 あなたが、横浜らしい食品や料理と思うものは何ですか。1つだけ、ご自由にお書きください。

- ・1,380 件の食品・料理が挙げられた。
- ・「焼売」が782件と最も多く、次いで「中華料理」（217件）、「はま菜ちゃん野菜、果物全般」（101件）、「サンマーメン」（98件）となっている。

図 横浜らしい食品や料理

順位	食品・料理	件数	含まれる表現
1位	焼売	782	焼売、崎陽軒の焼売、シュウマイ弁当
2位	中華料理（焼売、サンマーメン、肉まんは除く）	217	中華料理、餃子、ごま団子、ザーサイ、海鮮焼きそば、月餅、酢豚、八宝菜
3位	はま菜ちゃん野菜、果物全般（浜なしは除く）	101	はま菜ちゃん、小松菜、キャベツ、大根、白菜、ほうれん草、ジャガイモ、浜ぶどう、落花生、はま菜ちゃんうどん、はま菜チャンプル、横浜及び周辺の地場野菜を作った野菜料理、横浜でとれた野菜 等
4位	サンマーメン	98	サンマーメン、サンマー麺、モヤシソバ
5位	浜なし	36	浜なし、梨
6位	肉まん	31	肉まん、中華まん、中華まんじゅう、豚まん、あんまん
7位	ラーメン	28	ラーメン、家系ラーメン、家系ラーメン（とんこつ醤油）
8位	アイスクリーム	20	アイスクリーム、アイス
8位	洋食・洋菓子	20	オムライス、ナポリタン、シーフードグラタン・ドリア、ステーキ、スパゲッティ、ハンバーグ（デミグラスソースを使ったハンバーグ）、ビーフシチュー、ドリア、ハムカツ、カステラ、ハーバー、ビスカウト、パン、洋食 等
10位	カレー	15	カレー
11位	はまポーク	10	はまポーク、はまポークの味噌漬け、豚肉
12位	海産物	10	海産物、あなご、マグロ、魚、魚料理、八景の「のり」
13位	すき焼き・牛鍋	8	すき焼き、牛鍋
	その他	4	横浜牛乳、チーズ、最中、しゃぶしゃぶの肉をゴマだれで食する
	合計	1,380	

問 17 あなたは「地産地消」とは何か知っていましたか。(〇はひとつ)

- ・「地産地消」について「内容を知っている」市民の割合は、63.9%（前回調査 52.2%）となっていて、前回調査と比較すると、11.7ポイント上昇している。
- ・「地産地消」について「内容を知っている」壮年期（40～64歳）の割合は、75.3%と他の年齢層より高くなっている。

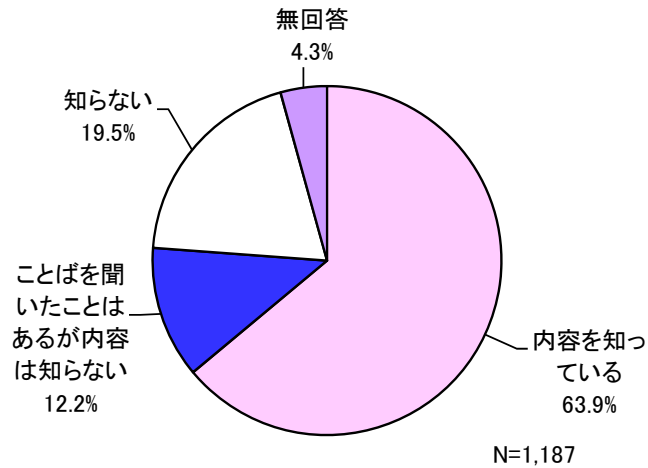
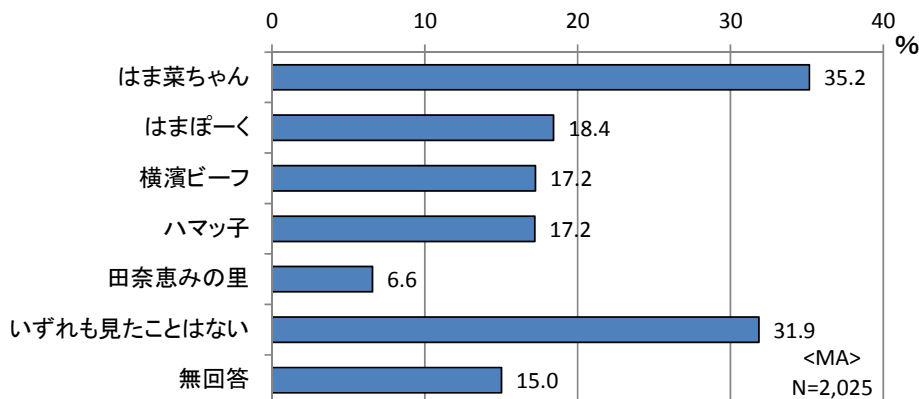


図 「地産地消」の認知度（年齢階層区分別）

		合計	あなたは「地産地消」とは何か知っていましたか。			
			内容を知っている	ことばを聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体		2025	53.7	11.2	29.2	5.9
年齢（階層区分）	乳幼児期（0～6歳）	187	15.0	4.3	55.1	25.7
	学童期（7～12歳）	231	32.5	11.7	52.4	3.5
	思春期（13～19歳）	273	51.3	10.3	36.3	2.2
	成人期（20～39歳）	400	59.5	10.3	29.0	1.3
	壮年期（40～64歳）	396	75.3	10.4	12.4	2.0
	高齢期（65歳以上）	391	57.0	16.1	17.1	9.7
年齢（統合）	20歳以上	1187	63.9	12.2	19.5	4.3

問 18 あなたは、「地産地消」につながる以下のマークを見たことがありますか。(〇はいくつでも)

- ・「はま菜ちゃん」を知っている市民の割合は 35.2% (前回調査 33.4%) となっている。
- ・「はま菜ちゃん」に次いで、「はまぼーく」(18.4%)、「横濱ビーフ」(17.2%)、「ハマッ子」(17.2%) となっている。



■ 年齢別 「地産地消」につながるマークの認知度 (問 18×F 1)

- ・年齢別にみると、「10～19 歳」ではま菜ちゃんを知っている人の割合が、74.1 % と他の年齢より高くなっている。

図 年齢別 「地産地消」につながるマークの認知度

		合計	問18 あなたは、「地産地消」につながる以下のマークを見たことがありますか。						
			はま菜ちゃん	田奈恵みの里	横濱ビーフ	ハマッ子	はまぼーく	いずれも見たことはない	無回答
	全体	2025	35.2	6.6	17.2	17.2	18.4	31.9	15.0
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	30.3	8.2	4.8	10.9	8.8	32.7	25.9
	10～19歳	397	74.1	10.8	19.6	22.7	17.4	13.6	6.0
	20～29歳	108	20.4	4.6	18.5	13.9	21.3	37.0	13.0
	30～39歳	292	25.0	7.2	17.8	20.5	27.4	36.6	9.9
	40～49歳	187	40.1	4.8	15.0	20.3	27.3	33.7	10.2
	50～59歳	123	21.1	5.7	24.4	18.7	27.6	36.6	9.8
	60～69歳	187	18.7	3.2	23.0	12.3	16.0	44.9	13.9
	70～79歳	200	18.0	3.0	21.0	16.0	11.5	32.5	29.0
	80歳以上	90	11.1	3.3	13.3	3.3	8.9	46.7	31.1
F1 年齢 (統合)	20歳以上	1187	23.3	4.8	19.1	16.3	21.0	37.6	15.7

問 19 あなたは、どのような場所で、それらのマークを見ましたか。(問 18 の 1 から 5 のマークを見たことがある方のみ、〇はいくつでも)

- ・「スーパー・小売店」が 49.6% で最も高く、次いで「直売所」が 24.6% となっている。
- ・191 件の記述があり、うち 167 件が「学校」であった。

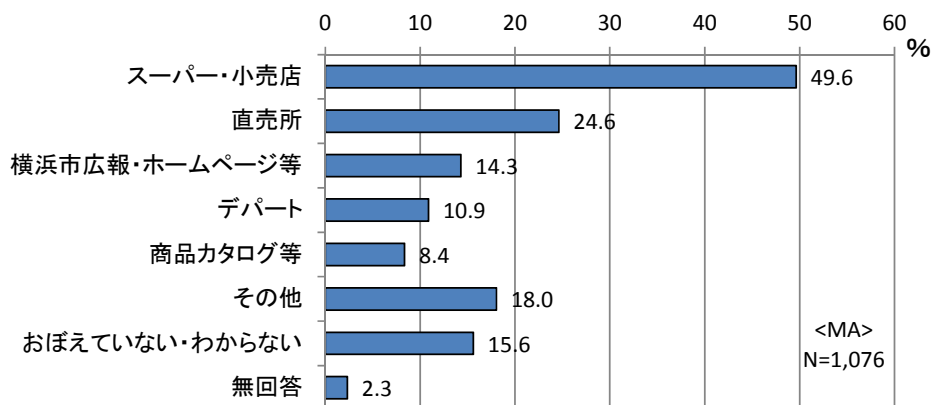


図 「その他」意見内容

場所	含まれる表現	件数
学校	小学校、学校からのプリント、給食（給食便り、献立表）、教科書など	167
農協	農協、J A など	5
その他	イベント、職場、店・レストラン、新聞、テレビ、製品パッケージなど	19
合計		191

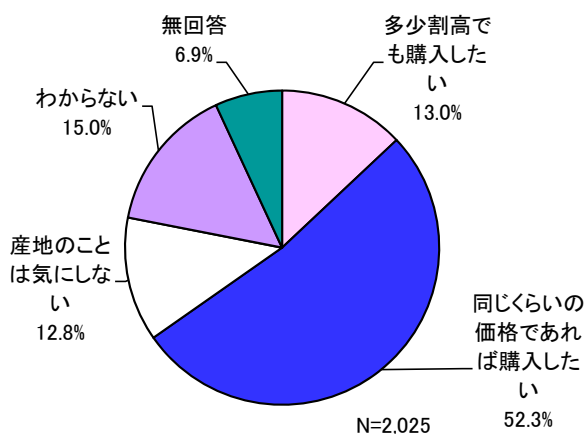
■ 年齢別 「地産地消」につながるマークを見た場所 (問 19×F1)

図 年齢別 「地産地消」につながるマークを見た場所

		合計	問19 あなたは、どのような場所で、それらのマークを見ましたか。							
			直売所	スーパー・小売店	デパート	商品カタログ等	横浜市広報・ホームページ等	その他	おぼえていない・わからない	無回答
全体		1076	24.6	49.6	10.9	8.4	14.3	18.0	15.6	2.3
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	122	19.7	34.4	5.7	4.1	9.0	27.9	15.6	4.1
	10～19歳	319	11.9	50.2	10.7	8.2	8.8	35.1	17.9	2.2
	20～29歳	54	20.4	46.3	7.4	7.4	7.4	9.3	27.8	0.0
	30～39歳	156	32.7	60.9	12.8	5.1	12.8	6.4	14.1	1.9
	40～49歳	105	30.5	53.3	11.4	4.8	20.0	18.1	13.3	2.9
	50～59歳	66	30.3	56.1	13.6	10.6	15.2	4.5	15.2	1.5
	60～69歳	77	24.7	54.5	14.3	11.7	24.7	0.0	15.6	0.0
	70～79歳	77	44.2	39.0	5.2	22.1	31.2	2.6	6.5	3.9
80歳以上	20	50.0	30.0	15.0	0.0	20.0	5.0	20.0	5.0	

**問 20 あなたは横浜市や神奈川県の農畜産物・水産物とわかる食品であれば、購入したいと思いますか。
(○はひとつ)**

・横浜市や神奈川県の農畜産物・水産物を「同じくらいの価格であれば購入したい」人の割合が、52.3%と最も高い。また、「多少割高でも購入したい」人の割合は、13.0%となっている。



■ 年齢別 横浜市・神奈川県の農畜産物・水産物の購入意欲 (問 20×F 1)

・年代別にみると、「多少割高でも購入したい」市民の割合は、70代で26.0%と最も高い。

図 年齢別 横浜市・神奈川県の農畜産物・水産物の購入意欲

		合計	問20 あなたは横浜市や神奈川県 <small>の</small> 農畜産物・水産物とわかる食品であれば、購入したいと思いますか。				
			多少割高でも購入したい	同じくらいの価格であれば購入したい	産地のことは気にしない	わからない	無回答
全体		2025	13.0	52.3	12.8	15.0	6.9
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	3.7	26.5	4.4	42.2	23.1
	10～19歳	397	8.8	46.9	17.9	21.9	4.5
	20～29歳	108	9.3	57.4	25.0	8.3	0.0
	30～39歳	292	14.0	66.4	8.9	8.2	2.4
	40～49歳	187	12.8	70.6	11.2	4.8	0.5
	50～59歳	123	16.3	63.4	14.6	4.9	0.8
	60～69歳	187	16.6	57.8	16.0	7.0	2.7
	70～79歳	200	26.0	51.0	11.0	6.0	6.0
80歳以上	90	12.2	41.1	17.8	8.9	20.0	

■ 「地産地消」の認知度別 横浜市・神奈川県の農畜産物・水産物の購入意欲 (問 20×問 17)

・「地産地消」の意味について、知っている人は、知らない人に比べて、市・県内産農畜水産物の購入意向が高い。

図 「地産地消」の認知度別 横浜市・神奈川県の農畜産物・水産物の購入意欲

		合計	問20 あなたは横浜市や神奈川県 <small>の</small> 農畜産物・水産物とわかる食品であれば、購入したいと思いますか。				
			多少割高でも購入したい	同じくらいの価格であれば購入したい	産地のことは気にしない	わからない	無回答
全体		2025	13.0	52.3	12.8	15.0	6.9
問17 あなたは「地産地消」とは何か知っていましたか。	内容を知っている	1088	18.2	61.6	10.8	7.0	2.4
	ことばを聞いたことはあるが内容は知らない	226	12.4	56.6	14.2	12.8	4.0
	知らない	591	4.7	39.3	17.4	32.7	5.9
	無回答	120	7.5	24.2	5.0	5.0	58.3

4. 食の安全や食に関する情報について

問 21 あなたは、どの程度、食品の安全性に関する知識（食品の表示の見方や食中毒菌について等）があると思いますか。（〇はひとつ）

- ・食の安全性に関する知識を持っている（「十分にあると思う」（9.1%）「まああると思う」（42.1%））人の割合は51.2%（前回調査45.1%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、食の安全性に関する知識が「十分にあると思う」が3.7ポイント、「まああると思う」が2.4ポイントと、合わせて6.1ポイント上昇している。

図 食品の安全性に関する知識

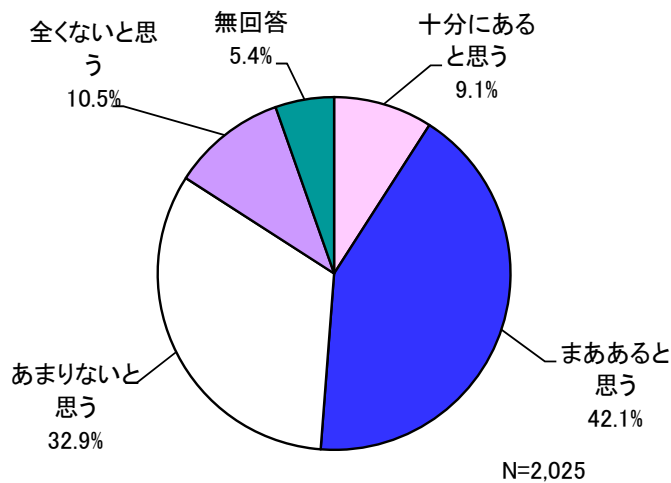
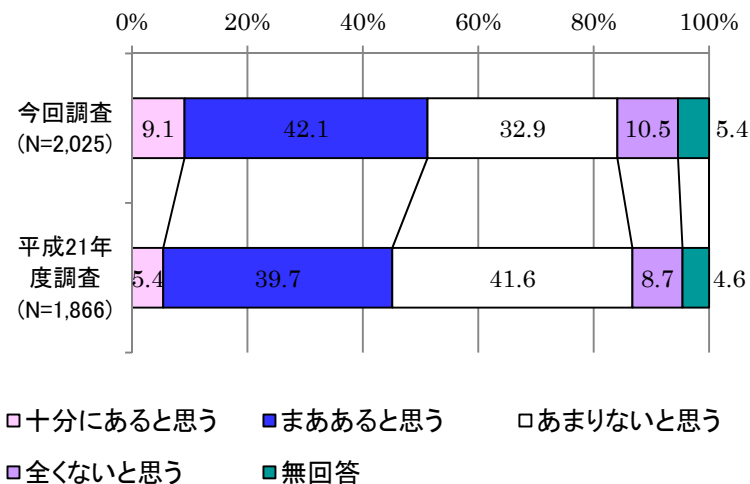
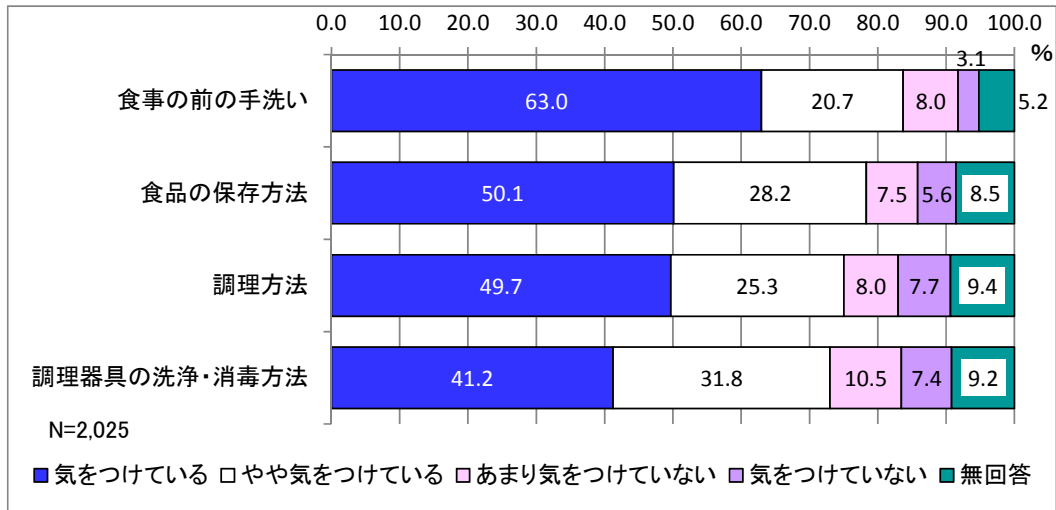


図 平成 21 年度調査との比較「食品の安全性に関する知識」



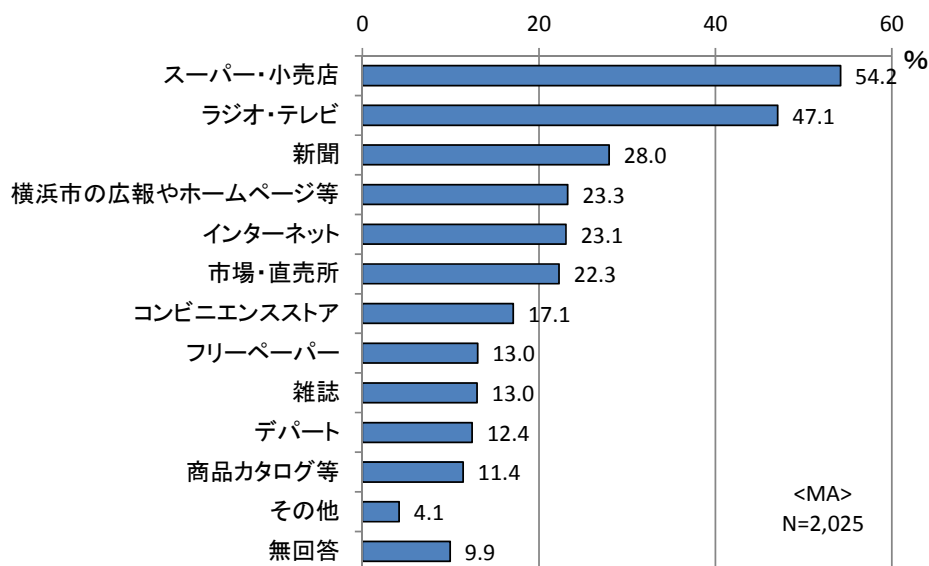
問 22 あなたは、食中毒を防ぐために、家庭で次のことに気をつけていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

・食中毒を防ぐために気を付けている（「気をつけている」と「やや気を付けている」の合計）人の割合は、「食事の前の手洗い」（83.7%）と最も高く、次いで「食品の保存方法」（78.3%）、「調理方法」（75.0%）、「調理器具の洗浄・消毒方法」（73.0%）となっている。



問 23 あなたは、食や食育について、どのようなメディアから情報を提供してほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「スーパー・小売店」が 54.2%と最も高く、次いで「ラジオ・テレビ」が 47.1%となっている。



■ 年齢別 情報を提供してほしいメディア (問 23×F1)

- ・「0～9歳」「10～19歳」では、「ラジオ・テレビ」が、最も高くなっている。
- ・「20～29歳」以上の世代では、「スーパー・小売店」が、最も高くなっている。

図 年齢別 情報を提供してほしいメディア

		合計	問23 あなたは、食や食育について、どのようなメディアから情報を提供してほしいと思いますか。												
			市場・直売所	小売店	デパート	コンビニエンスストア	商品カタログ	雑誌	フリーペーパー	新聞	ラジオ・テレビ	インターネット	ホームページ等	横浜市の広報	その他
全体		2025	22.3	54.2	12.4	17.1	11.4	13.0	13.0	28.0	47.1	23.1	23.3	4.1	9.9
F1 年齢 (10歳階級)	0～9歳	294	10.5	29.3	5.8	7.1	2.0	5.8	10.2	7.5	29.9	8.8	8.8	8.8	42.9
	10～19歳	397	16.4	50.4	13.1	24.2	9.6	16.1	9.6	23.9	51.9	31.5	14.9	9.1	6.0
	20～29歳	108	17.6	58.3	25.0	29.6	13.9	22.2	20.4	24.1	48.1	44.4	17.6	3.7	0.9
	30～39歳	292	30.8	67.1	14.0	18.8	10.3	16.4	23.6	22.6	47.9	33.2	26.0	1.7	1.0
	40～49歳	187	23.5	59.9	9.1	16.6	11.2	15.0	20.9	31.0	50.8	31.0	26.7	2.1	1.1
	50～59歳	123	22.0	65.9	11.4	18.7	17.1	20.3	14.6	43.9	64.2	34.1	23.6	0.0	0.0
	60～69歳	187	24.1	63.1	11.8	13.9	17.6	14.4	9.6	47.6	52.9	15.0	34.2	0.5	3.7
	70～79歳	200	34.0	63.5	13.5	14.0	16.5	5.5	3.0	41.5	46.5	4.5	40.0	1.5	6.5
80歳以上	90	24.4	43.3	16.7	12.2	17.8	6.7	1.1	38.9	41.1	2.2	34.4	0.0	13.3	

問 24 食や食育について、行政（横浜市）に期待することがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・450件の意見が挙げられた。
- ・最も多かった意見は、「給食について」（88件）となっている。

図 食や食育について、行政（横浜市）に期待すること

意見内容	件数	含まれる表現・内容
給食について	88	中学校給食の実現、給食の充実、安全な食材の使用、給食を通じた食育等
広報・宣伝について	83	広報・宣伝・PR、イベント開催、パンフレット等
安全・安心・安価について	80	放射能が不安、放射性物質に関する情報提供、検査体制の充実、産地偽装、遺伝子組み換え、外国産野菜、残留農薬、食の安全の確保、適正価格等
教育（給食を除く）について	60	学校教育（授業、家庭科）、体験学習（農業体験、親子体験）、未就学児・園児への教育等
地産地消の推進について	59	直売所、商品表示の工夫、購入できる場所の拡大（スーパー等）、地場産品の宣伝、地場産品の安価な入手
大人への教育・啓発について	51	大人（保護者、高齢者、20代、若い女性等）への教育、各種講座、レシピ・メニューの紹介、健康に関する啓発等
農業について	13	農家（酪農家・漁業家）への支援、市民農園等
アンケートについて	10	アンケート内容（対象年齢）の再考、アンケートは不要、参考になる等
その他	6	食品廃棄をなくす、食事場所の提供、糖尿病食等の専門店がほしい、行政に頼らず自分で考えるべき、本気での取り組みを望む
	450	

■ 意見紹介

<給食について>

- ・園児の給食などにも食育につながるようなメニューを増やすように指導してほしい。（30代女性）
- ・子ども達は、学校給食で地産地消や旬の食材等を学んでいます。これからもそのような機会を継続してほしいです。（40代女性）
- ・子どもの給食を充実させてほしい。体に良いもの、地元の新鮮な素材を使用する等。（40代女性）

<広報・宣伝について>

- ・横浜市内の農産物、水産物をもっとPRすべきと思う。（40代女性）
- ・地産地消について、もっとわかりやすく、子どもからお年寄りまで耳に入るような情報を提供していただくと嬉しいです。（40代女性）
- ・学校で配布されるフリーペーパーは、周りの友達も読んでいる人が多くいるので、これからも発行していただければ知名度が広がると思います。（10代女性）
- ・地産地消のマークはあまり一般には知られていないと思います。もっと品物と一緒に宣伝してください。（70代女性）

<安全・安心・安価について>

- ・安全第一で良い物なら、多少高くても産地のものを購入したい。（40代女性）
- ・産地偽装や、食品の安全性の確保をしっかりとやってほしい。（60代女性）

<教育（給食を除く）について>

- ・子どもを対象とした、横浜市で取れる野菜などの収穫体験を積極的に行っていただきたい。ありがたさを知る機会として。（女性）
- ・小学校でやった「横浜地域の教育」（特に食や食育）は良かったので、継続するべきだと思う。（10代男性）
- ・小学校から食育をしっかりと行う必要があると思います。特にテレビやインターネットでたくさんの情報を得られる時代であるがために、例えばモデルの体型に影響されて細くなりすぎる人が急増しています。「食」の大切さをもう一度見直すべきです。（20代男性）

<地産地消の推進について>

- ・横浜市プロデュースで地場野菜弁当などを作り、コンビニなどで販売してくれたら買いたいです。野菜不足が気になるので…。（20代女性）
- ・日頃から地場野菜や国産の商品を購入するようにしています。特に国産の食品に関しては、表示は必ず確認するようにしています。鮮度の点からみても地場野菜はとても良いと思うので、スーパーなどでもっと販売面積を広くしたり、種類も増やしてもらえるとうれしいです。
地産地消に関するイベントも、わざわざ特別な会場まで足を運ぶとなると大変なので、普段の買い物の際に立ち寄ることができるよう、スーパー等でやってもらえるとうれしいです。（40代女性）

<大人への教育・啓発について>

- ・若い女性の中で「食べないダイエット」をしている方が多くいます。その中には食事の量を極端に減らすことで及ぶ危険性を知らない子もいます。栄養をバランスよく摂ることの大切などを、わかりやすく楽しく伝えてもらえればなと思います。（10代女性）
- ・自分の身体ことは軽視しがちでしたが、子どもができて気をつけたいと思いました。子育て支援の場で紹介してもらえたらと思います。

<農業について>

- ・マンションに住んでいるので、育てられる作物が限られています。息子は自分で大きなキャベツやブロッコリーを育ててみたいそうです。近くで空いている畑などを貸していただける所があればと思っています。（10代男性）

食育に関する意識調査(アンケート)

ご協力をお願い

横浜市では、食育基本法（平成 17 年成立）第 18 条に基づく市町村計画として、平成 22 年 9 月に「横浜市食育推進計画」（以下、計画と略す）を策定しました。

この計画は、「食育」をより一層推進していくために、「食」を通して、市民の健康と豊かな人間性をはぐくみ、高めることを目的とするものです。また、食育上の課題解決に向けて、数値目標を設定し、計画期間（平成 22 年度～27 年度）中の達成を目指しています。

このたび、この計画で設定した数値目標の達成状況を把握・検証するとともに、市民の皆様のご意見を食育の取り組みに反映するため、本調査を行うことにいたしました。

なお、この調査は、市内にお住まいの 5,000 人の方を無作為に選ばせていただき、送付させていただきました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、この調査の結果は、計画を進めるための重要な基礎資料といたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※13 歳未満の方につきましては、保護者又は代理の方がご本人の考えを確認いただき、ご記入いただきますよう、お願いします。設問の中に、ご本人の意向を確認できない、あるいは確認しづらいものがある場合は、その設問を飛ばしていただいても構いません。

平成 24 年 12 月

横浜市健康福祉局保健事業課

◆ふだんの生活についておたずねします。

問1 あなたはふだん（平日）の夜は、何時頃に寝ることが多いですか。（○はひとつ）

- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| 1. 8時（20時）台 | 4. 11時（23時）台 | 7. その他 |
| 2. 9時（21時）台 | 5. 午前0時（24時）台 | |
| 3. 10時（22時）台 | 6. 午前1時より後 | |

問2 あなたのふだんの睡眠時間は、およそ何時間くらいですか。（○はひとつ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 5時間未満 | 3. 6～7時間未満 | 5. 8～9時間未満 |
| 2. 5～6時間未満 | 4. 7～8時間未満 | 6. 9時間以上 |

問3 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものをお答えください。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 良好である | 3. どちらかというと良好ではない |
| 2. どちらかというと良好である | 4. 良好ではない |
| | 5. どちらともいえない |

◆食事の状況についておたずねします。

問4 あなたは、ふだんの食事の時間が楽しいですか。（○はひとつ）

- | | | | |
|-----------|----------|-------------|------------|
| 1. 非常に楽しい | 2. やや楽しい | 3. あまり楽しくない | 4. 全く楽しくない |
|-----------|----------|-------------|------------|

問5 あなたは、食事に関して、困っていることはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 特に困っていることはない | 5. 自力で食事ができない |
| 2. 食料品を買いに出かけられない | 6. アレルギー等で、食べられないものが多い |
| 3. 病気・障害等で、食事が作れない | 7. その他（ ） |
| 4. 調理方法がわからない | |

問6 あなたは、日頃の食生活で悩みや不安を感じていますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 悩みや不安を感じている | 2. 悩みや不安を感じていない |
|----------------|-----------------|

・問6で「1」に○をつけた方のみご回答ください。）

問6-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 自分の健康について | 5. 将来の食料供給について |
| 2. 家族の健康について | 6. 食文化の継承について |
| 3. 家計や食費について | 7. 食べ残しや廃棄など環境への影響について |
| 4. 食品の安全について | 8. その他（ ） |

問7 あなたはふだん、朝食・夕食をどの程度食べていますか。(○はそれぞれひとつずつ)

	食べない	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日
朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

・問7で、朝食について「1から7」に○をつけた方のみご回答ください。

問7-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 時間がないから	5. 準備するのが面倒だから
2. 食欲がわからないから	6. 以前から食べる習慣がないから
3. 減量(ダイエット)したいから	7. その他()
4. 朝食が用意されていないから	

問8 あなたはふだん食事の際に、習慣にしていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 「いただきます」「ごちそうさま」と言う	7. 食事中にテレビをつけない
2. 食べ残さない	8. 食事中に新聞、雑誌などをみない
3. 茶わんやおわんを持って食べる	9. 食事中に携帯電話を使わない
4. はしの持ち方に気をつける	10. 配膳や後片付けをする
5. ひじをつかない	11. その他()
6. 音を立てないように食べる	

・ご家族等と同居されている方におたずねします。ひとり暮らしの方は、問11へお進みください。

問9 あなたはふだん、朝食・夕食を、家族等同居されている方とどの程度一緒に食べていますか。

(○はそれぞれひとつずつ)

	家族などと一緒に食べる回数							
	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	一緒に食べない
朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

問10 あなたのご家庭では、誰が調理の中心となっていますか。(○はひとつ)

1. 自分が中心となっている	4. 外食や調理済み食品の購入が主なので、調理をほとんどしていない
2. 自分以外の方が中心となっている	5. その他()
3. 自分も、自分以外の方もほぼ同等にやっていることが多い	

・ひとり暮らしの方におたずねします。ご家族と同居されている方は、問12へお進みください。

問11 あなたはふだん、朝食・夕食をどの程度、ご友人などと一緒に食べていますか。

(○はそれぞれひとつずつ)

	友人などと一緒に食べる回数							
	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	一緒に食べない
朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

◆食育についておたずねします。

- 国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむことができるようにするため、平成 17 年 7 月に「食育基本法」が施行されました。
- 食育基本法の中では、「食育」を、
 - ① 生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきもの
 - ② 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること
- と位置づけています。

問 1 2 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------------|------------------------|-----------------|
| 1. 言葉も意味も知っていた | 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった | 3. 言葉も意味も知らなかった |
|----------------|------------------------|-----------------|

問 1 3 あなたは「食育」に関心がありますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|------------------|------------------|----------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある | 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない |
|----------|------------------|------------------|----------|

問 1 4 あなたは次の「食育」に関する項目にどの程度関心がありますか。(○はそれぞれひとつずつ)

	生活習慣として継続できている	ふだんから行動しているが、継続できていない	関心はあるが、行動していない	関心がない
毎日 3 食、バランスよく食べること	1	2	3	4
食にまつわる地域文化や伝統を知ること	1	2	3	4
食中毒、産地偽装など、食品の安全確保	1	2	3	4
自給率、食料品等の輸入について	1	2	3	4
栄養や食事の作り方等を知ること	1	2	3	4
生産者との交流や生産の場を知ること	1	2	3	4
地場産物を購入すること	1	2	3	4
市民農園などで農作業を体験すること	1	2	3	4
食べ残しや食品廃棄物の問題について	1	2	3	4
食卓を囲んでの家族・友人等との団らん	1	2	3	4
家族と食事を作ること	1	2	3	4
食事のマナー・作法について	1	2	3	4
よく噛んで味わって食べること	1	2	3	4
その他 ()	1	2	3	4

問15 あなたは、健全な食生活を実践するため参考にしている指針等がありますか。(○はひとつ)

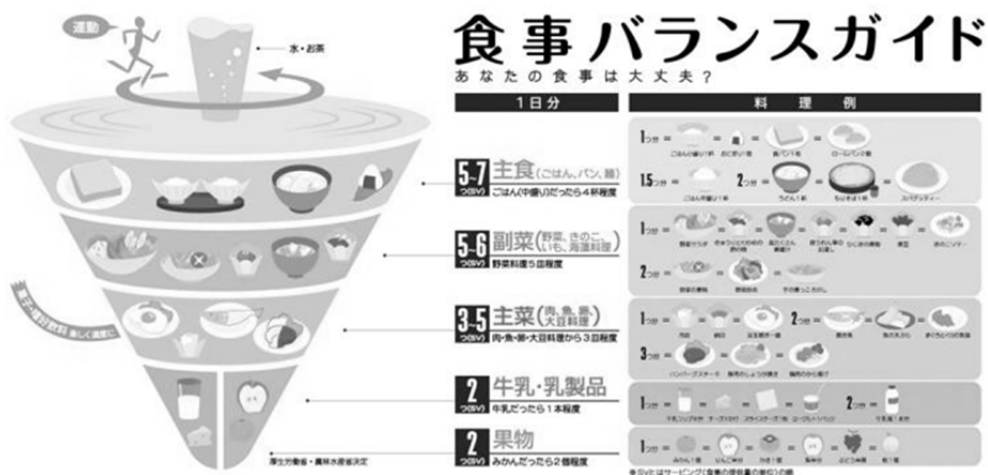
- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 参考にしているものがある | 2. 特に参考にしていない → 問16へ |
|-----------------|----------------------|

・問15で「1」に○をつけた方のみご回答ください。

問15-1 あなたは、どのような指針等を参考にしていますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 食事バランスガイド | 4. 6つの基礎食品 |
| 2. 食生活指針 | 5. 3色分類 |
| 3. 日本人の食事摂取基準 | 6. その他 () |

- 「食事バランスガイド」: 「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの
- 「食生活指針」: 望ましい食生活を実践するための指針(例: 「主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを」「食塩や脂肪は控えめに」)
- 「日本人の食事摂取基準」: 1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの(例: 食塩摂取目標量「男性 9.0g/日未満」「女性 7.5g/日未満」)
- 「6つの基礎食品」: 栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの
- 「3色分類」: 食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの



【食事バランスガイド (農林水産省・厚生労働省作成)】



【6つの基礎食品群 (厚生労働省作成)】



【3色分類（岡田正美氏提唱）】





問16 あなたが、横浜らしい食品や料理と思うものは何ですか。1つだけ、ご自由にお書きください。

「地産地消とは、「地域生産、地域消費」の略語であり、「その土地でとれたものを、その土地で消費すること」を言います。」

問17 あなたは「地産地消」とは何か知っていましたか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 3. 知らない |
| 2. ことばを聞いたことはあるが内容は知らない | |

問18 あなたは、「地産地消」につながる以下のマークを見たことがありますか。（○はいくつでも）

1. 	3. 	5. 
2. 	4. 	6. いずれも見たことはない →問20へ

・問18の1から5のマークを見たことがある方におたずねします。

問19 あなたは、どのような場所で、それらのマークを見ましたか。(〇はいくつでも)

1. 直売所	4. 商品カタログ等	6. その他 ()
2. スーパー・小売店	5. 横浜市広報・ホームページ等	7. おぼえていない・わからない
3. デパート		

問20 あなたは横浜市や神奈川県 of 農畜産物・水産物とわかる食品であれば、購入したいと思いますか。

(〇はひとつ)

1. 多少割高でも購入したい	3. 産地のことは気にしない
2. 同じくらいの価格であれば購入したい	4. わからない

◆食の安全や食に関する情報についておたずねします。

問21 あなたは、どの程度、食品の安全性に関する知識(食品の表示の見方や食中毒菌について等)があると思いますか。(〇はひとつ)

1. 十分にあると思う	3. あまりないと思う
2. まああると思う	4. 全くないと思う

問22 あなたは、食中毒を防ぐために、家庭で次のことに気をつけていますか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

	気をつけている	やや気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない
食事の手洗い	1	2	3	4
食品の保存方法	1	2	3	4
調理方法	1	2	3	4
調理器具の洗浄・消毒方法	1	2	3	4

問23 あなたは、食や食育について、どのようなメディアから情報を提供してほしいと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 市場・直売所	5. 商品カタログ等	9. ラジオ・テレビ
2. スーパー・小売店	6. 雑誌	10. インターネット
3. デパート	7. フリーペーパー	11. 横浜市の広報やホームページ等
4. コンビニエンスストア	8. 新聞	12. その他

問24 食や食育について、行政(横浜市)に期待することがありましたら、ご自由にお書きください。

◆最後に、あなたご自身についておたずねします。

F 1 あなた（あて名の方）の性別・年齢を教えてください。（年齢は平成24年12月1日現在の年齢）

1. 女性	2. 男性	満 [] 歳
-------	-------	-------------

F 2 あなたは、何区に住んでいますか。（○はひとつ）

1. 青葉区	4. 磯子区	7. 港南区	10. 瀬谷区	13. 戸塚区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	5. 神奈川区	8. 港北区	11. 都筑区	14. 中区	17. 緑区
3. 泉区	6. 金沢区	9. 栄区	12. 鶴見区	15. 西区	18. 南区

F 3 あなたのご職業は、どれにあてはまりますか。（○はひとつ）

1. 自営業・自由業	4. パート・アルバイト	7. 無職
2. 会社員等（事務職）	5. 主婦・主夫	8. その他（ ）
3. 会社員等（現業職）	6. 児童・生徒・学生	

F 4 あなたは、結婚されていますか。（○はひとつ）

1. 既婚（有配偶者）	2. 既婚（離別・死別）	3. 未婚
-------------	--------------	-------

↓
・ F 4 で既婚（有配偶者）とお答えの方のみ、お答えください。

F 4-1 ご夫婦ともに働いていますか。（○はひとつ）

1. はい（パート・アルバイト等も含む）	2. いいえ
----------------------	--------

F 5 あなたの家族構成（世帯）は、どれにあてはまりますか。（○はひとつ）

1. ひとり暮らし	3. 二世帯	5. その他（ ）
2. 夫婦のみ	4. 三世帯	

F 6 あなた（あて名の方）を含め、同居されている方の中で、20歳未満の方はいらっしゃいますか。

あてはまる場所に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 就学前児童（乳幼児含む）	3. 中学生・高校生	5. 社会人・その他
2. 小学生	4. 専門学校・大学等の学生	6. いない

質問は以上です。

回答票を同封の返送用封筒（切手不要）に入れ、12月25日（火）までにご投函ください。
御協力いただき、ありがとうございました。



【調査票記入にあたって】

1 記入の方法

回答は、この調査票に直接ご記入ください。問16・24以外は、あてはまる番号に○印をつけてください。筆記用具は、鉛筆・ボールペンなど、どのようなものでも構いません。

2 アンケートの対象者

封筒のあて名の方（お名前が記載されている方）がアンケートの対象者となっています。

3 アンケート回答者(記入者)

できる限り、アンケート対象者（あて名の方）ご本人がご回答(記入)ください。

ただし、13歳未満の方については、保護者または代理の方にご本人の考えを確認しご記入いただきたく、お願いいたします。

なお、回答が困難な設問は飛ばしていただいても構いません。

4 返送の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、

平成24年12月25日（火）までに投函してください。

5 返送いただいた回答について

アンケートについて、回答者が特定されることはありません。

『しかくしょうがいとう視覚障害等により、ちょうさひょう調査票への記入が困難な方々へ』

このちょうさひょう調査票は、てんじ点字やろくおん録音での回答が困難であるため、たいへんもう大変申し訳
ごさいませんが、てんじばん点字版やろくおんばん録音版をご用意しておりません。

きょうりょくご協力いただける場合は、ばあいお手数ですがてすう下記のお問い合わせ先ま
れんらくでご連絡ください。

【アンケートの問合せ先】

かぶしきがいしゃいちいきんきょうけいかく株式会社地域環境計画（よこはましけんこうふくしきよくほけんじぎょうか横浜市健康福祉局保健事業課から本調査の事務局を受託）

でんわ電話 045 (311) 3546

FAX 045 (314) 6720

たんとう担当 たなか田中・さとう佐藤

※保護者の方、またはご本人以外の代理の方がご本人の考えを確認してご記入いただく場合、確認しづらい設問は飛ばしていただいても構いません。

◆参考 横浜市食育推進計画（目標数値一覧）

現状	目標	目標を達成するための数値目標		現状値	数値目標
よく知ろう					
「食事バランスガイド」を参考にしながら、食生活を送っている人は少ない。	生活習慣病予防に重要な食事の栄養バランスの様々な指標に対する関心を高め、理解することによって、より健康的な食生活を営めるようにする。	食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている市民の割合		29.7%	70.0%
家庭などでできる簡単な食中毒予防に関する知識が十分に浸透していない。	食品の安全性に関する話題への市民の関心を高め、基礎的な知識を身につけることにより、家庭で発生する食中毒による健康被害を減少させていく。	食品の安全性に関する基礎的な知識をもっている市民の割合 ※1		45.1%	60.0%
これをやってみよう					
横浜産の農畜産物に関するマークや愛称を知っている人が少ない。	「はま菜ちゃん」の認知度を高めることを通して、多くの人が横浜産農畜産物への愛着を持つことができるようにする。	「はま菜ちゃん」を知っている市民の割合 ※1		33.4%	45.0%
地産地消を知らない人は知っている人に比べて、市・県内産農畜水産物の購入意欲が低い。	地産地消という言葉の認知度が高まり、市・県内産農畜水産物の購入意欲が高まる。	地産地消の意味を知っている市民の割合		52.2%	60.0%
はなしあおう					
市・県内産農畜水産物の生産量等が限られる中、学校給食で市・県内産農畜水産物をできるだけ多く使用するようにしている。	市立小学校の学校給食において、市・県内産物を使用する機会を増やすことを通して、小学生の食料自給率への関心の高まりにつなげていく。	市立小学校の学校給食において、市・県内産物を使用する割合		15.3%	20.0%
まいにちやってみよう					
20代・30代男性は、朝食を欠食する人の割合が高い。	より多くの20代・30代男性にとって、毎日の生活のスタートであり「一日の活力の源」である朝食を食べることの大切さの理解を深め、習慣化につなげていく。	朝食を欠食する市民の割合 ※2	20代男性	57.1%	15.0%以下
			30代男性	34.8%	15.0%以下
1日あたりの野菜の摂取量は十分ではない。	健康に良い野菜のおいしさを実感し、1日の食事の中に、野菜を使ったメニューをもっと増やしていくような啓発を進めていく。	1日あたりの野菜摂取量 ※3		275.6g	350g以上
①食事の栄養バランスの偏りに加え、食生活の乱れが生活習慣病の増加を引き起こしている。 ②いわゆる「孤食（一人で食べる）」の常態化により、食事への関心が薄れ、不規則な食事に陥りがちとなることへの懸念が指摘されている。	生活習慣病予防のために、日々の食事習慣「基本は、1日三食バランスよく」を実践することを心がけるように、啓発を強化していく。	適正体重である市民の割合 ※3	20～60代で肥満でない男性	75.9%	85.0%以上
※食育推進計画全体に関わるもの					
食育に関心をもっている市民の割合 ※1				73.7%	90.0%

注) ※1・・・0歳以上、それ以外は20歳以上を対象とします。

※2・・・健康横浜21では、朝食を食べる人の割合を全市民で85%以上にするを目標にしています。

※3・・・健康横浜21で設定されている目標